

## 平成25年度全国学力・学習状況調査の結果に係る資料

〇〇市

児童質問紙・学校質問紙回答結果集計

平均正答率の全国平均との比較、経年変化

結果チャート、全国基準

平成25年10月 日

滋賀県教育委員会事務局学校教育課

平成25年度全国・学力学習状況調査 児童質問紙 学校質問紙 結果集計

児童の状況からの課題

		質問番号	質問事項
1	授業を受ける姿勢や態度	学校質問紙【22】	第6学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか
		学校質問紙【21】	第6学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか
		学校質問紙【40】	第6学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底しましたか
2	学習習慣・生活習慣	児童質問紙【32】	家で、学校の授業の復習をしていますか
		児童質問紙【31】	家で、学校の授業の予習をしていますか
		児童質問紙【29】	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
3	教科に関する関心	児童質問紙【53】	国語の勉強は好きですか
		児童質問紙【67】	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか
		児童質問紙【76】	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか
4	言語力・読解力	児童質問紙【50】	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか
		児童質問紙【60】	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか
		学校質問紙【74】	第6学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか

学校の取組、教員の指導面での課題

		質問番号	質問事項
5	学力向上に向けた組織的な研修	学校質問紙【58】	平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
		学校質問紙【117】	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか
		学校質問紙【112】	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか
6	授業方法や指導方法の改善	学校質問紙【35】	第6学年の児童に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童に示す活動を計画的に取り入れられましたか
		学校質問紙【36】	第6学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか
		学校質問紙【41】	第6学年の児童に対して、前年度までに、学習方法(適切にノートをとるなど)に関する指導をしましたか
7	個に応じた指導	学校質問紙【78】	第6学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
		学校質問紙【71】	第6学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
		学校質問紙【32】	第6学年の児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか
8	家庭学習の指導	学校質問紙【96】	第6学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか
		学校質問紙【102】	第6学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導しましたか
		学校質問紙【104】	第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか(国・算共通)



回答結果集計 [学校・児童質問紙]

滋賀県一学校(公立)

・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

	学校数
滋賀県(公立)	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙【22】

調査対象	1	2	3	4	
全国	36.7	53.7	8.9	0.7	0.0
滋賀県	23.7	61.0	14.5	0.9	0.0
〇〇市	32.4	51.4	13.5	2.7	0.0
秋田県	41.0	53.3	5.3	0.4	0.0
福井県	40.9	52.0	7.1	0.0	0.0
	そのとおり だと思う	どちらか といえば、 そう 思う	どちらか といえば、 そう 思わない	そう思わ ない	その他 無回答

調査対象	割合 (%)
全国	36.7
滋賀県	23.7
〇〇市	32.4
秋田県	41.0
福井県	40.9

第6学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか「そのとおりだと思う」と答えた割合

学校質問紙【21】

調査対象	1	2	3	4	
全国	22.6	69.8	7.4	0.1	0.1
滋賀県	16.2	75.0	8.8	0.0	0.0
〇〇市	13.5	78.4	8.1	0.0	0.0
秋田県	32.6	64.8	2.6	0.0	0.0
福井県	25.8	69.2	5.1	0.0	0.0
	そのとおり だと思う	どちらか といえば、 そう 思う	どちらか といえば、 そう 思わない	そう思わ ない	その他 無回答

調査対象	割合 (%)
全国	22.6
滋賀県	16.2
〇〇市	13.5
秋田県	32.6
福井県	25.8

第6学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか「そのとおりだと思う」と答えた割合

学校質問紙【40】

調査対象	1	2	3	4	
全国	61.6	35.5	2.7	0.0	0.1
滋賀県	42.5	53.5	3.5	0.0	0.4
〇〇市	54.1	40.5	5.4	0.0	0.0
秋田県	71.4	25.6	1.3	0.0	1.8
福井県	68.2	31.8	0.0	0.0	0.0
	よく行った	どちらか といえば、 行った	あまり行っ ていない	全く行っ ていない	その他 無回答

調査対象	割合 (%)
全国	61.6
滋賀県	42.5
〇〇市	54.1
秋田県	71.4
福井県	68.2

第6学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底しましたかに「よく行った」と答えた割合



回答結果集計 [学校・児童質問紙]

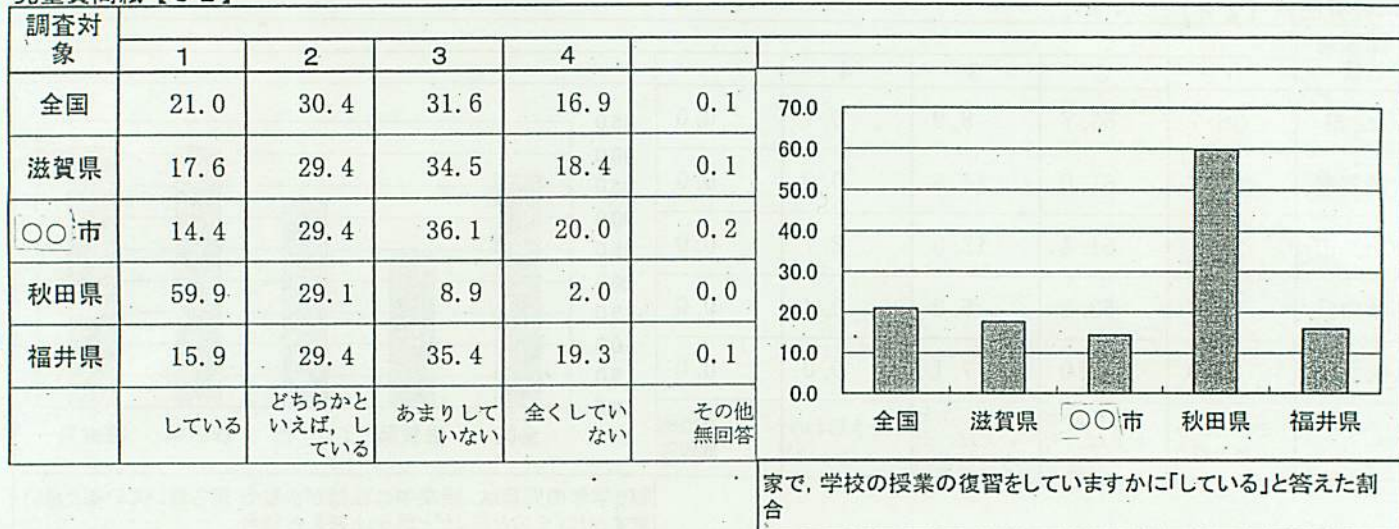
滋賀県一学校(公立)

・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

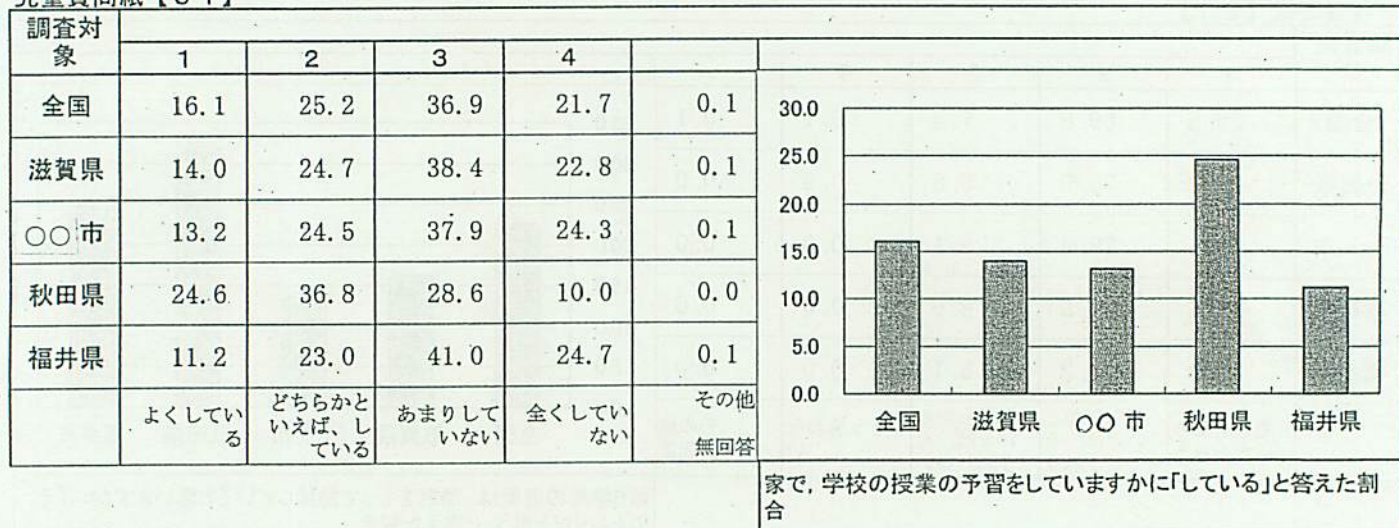
	学校数
滋賀県(公立)	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

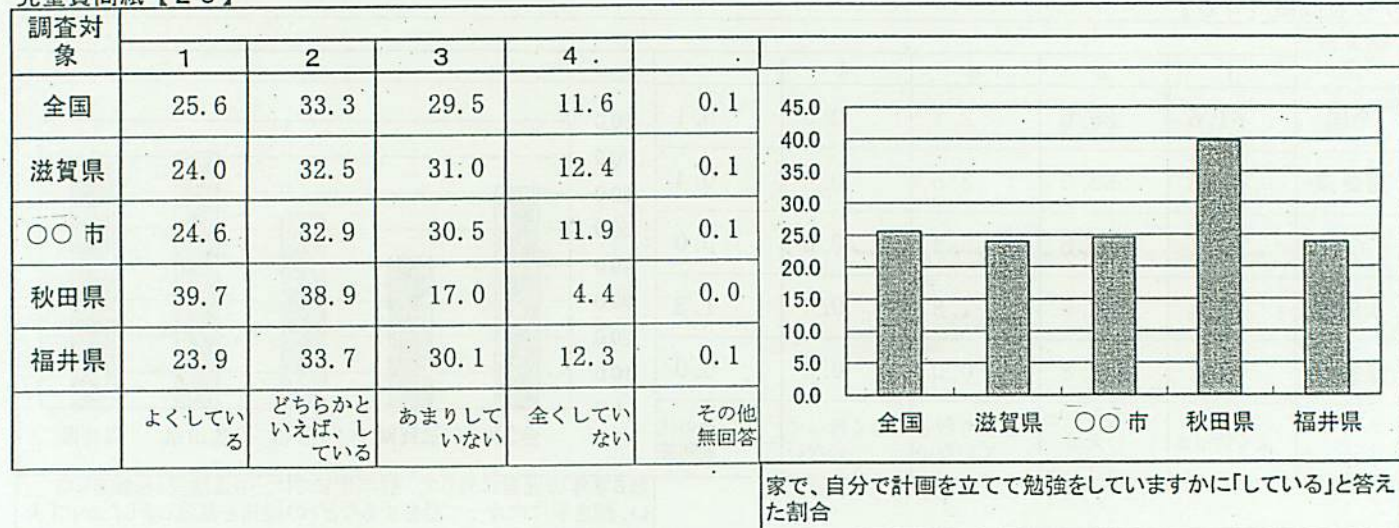
児童質問紙【32】



児童質問紙【31】



児童質問紙【29】





回答結果集計 [学校・児童質問紙]

滋賀県一学校（公立）

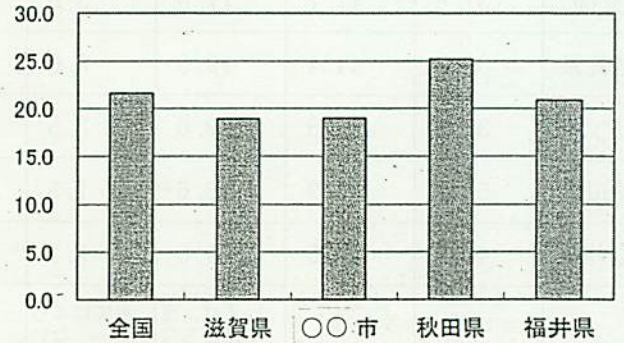
・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

	学校数
滋賀県（公立）	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

児童質問紙【53】

調査対象	1	2	3	4	
全国	21.6	36.3	27.5	14.4	0.2
滋賀県	18.9	35.8	30.0	15.2	0.2
〇〇市	19.0	36.0	29.9	14.9	0.2
秋田県	25.2	44.2	22.0	8.5	0.0
福井県	20.9	37.9	27.9	13.0	0.3
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他無回答



国語の勉強は好きですかに「当てはまる」と答えた割合

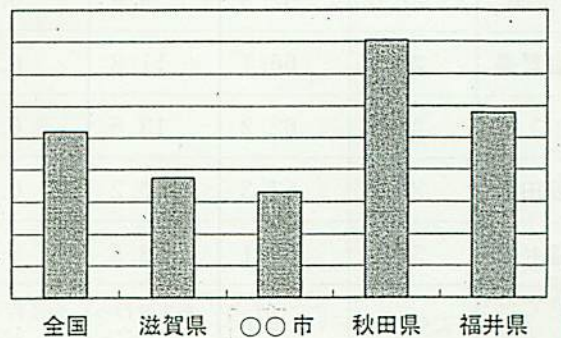
児童質問紙【67】

調査対象	1	2	3		
全国	69.8	26.9	2.2		1.1
滋賀県	65.5	30.8	2.7		1.0
〇〇市	66.6	29.7	2.6		1.2
秋田県	82.5	16.3	0.8		0.4
福井県	77.8	19.8	1.4		1.0
	最後まで解答を書こうと努力した	途中であきらめたものがあった	書く問題は全く解答しなかった		その他無回答

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたかに「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた割合

児童質問紙【76】

調査対象	1	2	3	4	
全国	52.4	24.8	14.9	7.6	0.3
滋賀県	49.5	25.0	16.8	8.4	0.3
〇〇市	48.6	25.6	17.7	7.8	0.4
秋田県	58.1	26.7	11.0	4.2	0.0
福井県	53.6	25.8	14.1	6.2	0.2
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他無回答



算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいとおもいますかに「当てはまる」と答えた割合



回答結果集計 [学校・児童質問紙]

滋賀県一学校(公立)

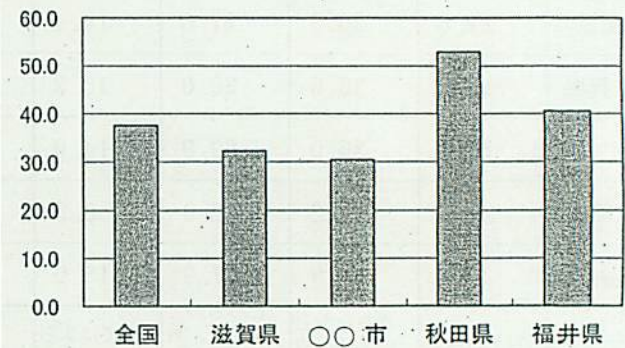
・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

	学校数
滋賀県(公立)	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

児童質問紙【50】

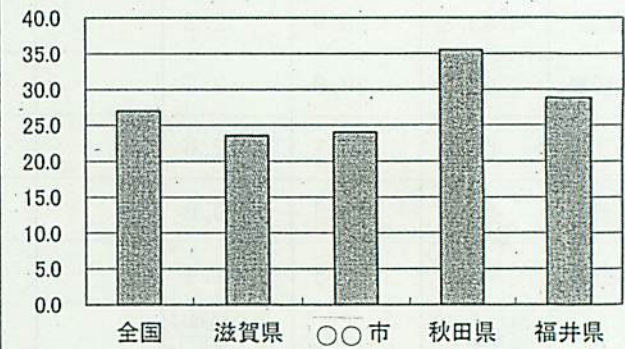
調査対象	1	2	3	4	
全国	37.6	41.7	17.0	3.6	0.2
滋賀県	32.3	44.4	19.5	3.6	0.2
〇〇市	30.5	46.8	19.0	3.5	0.2
秋田県	52.9	36.9	8.6	1.5	0.1
福井県	40.5	40.5	15.6	3.2	0.2
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答



普段の授業では、学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っていると思いますかに「当てはまる」と答えた割合

児童質問紙【60】

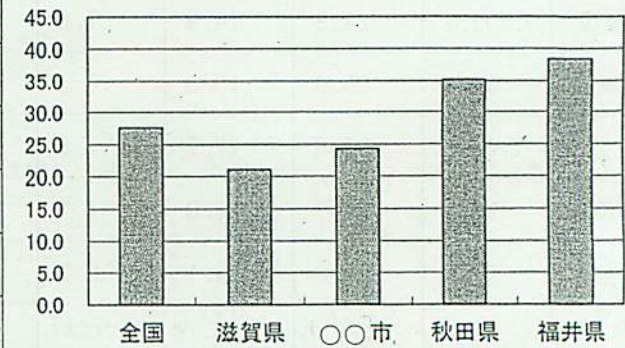
調査対象	1	2	3	4	
全国	27.0	41.9	24.2	6.6	0.1
滋賀県	23.6	42.8	26.3	7.2	0.2
〇〇市	24.0	42.3	26.2	7.2	0.1
秋田県	35.5	45.9	15.4	3.2	0.0
福井県	28.8	42.2	23.0	6.0	0.1
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答



国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますかに「当てはまる」と答えた割合

学校質問紙【74】

調査対象	1	2	3	4	
全国	27.6	62.3	9.8	0.2	0.1
滋賀県	21.1	66.7	11.8	0.0	0.4
〇〇市	24.3	62.2	13.5	0.0	0.0
秋田県	35.2	57.3	6.2	0.0	1.3
福井県	38.4	58.1	3.5	0.0	0.0
	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他 無回答



第6学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたかに「よく行った」と答えた割合



回答結果集計 [学校・児童質問紙]

滋賀県一学校（公立）

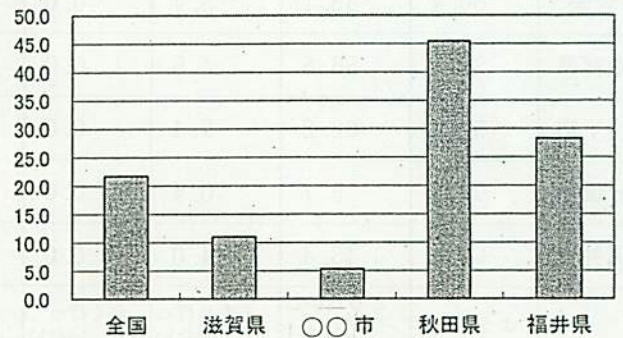
・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

	学校数
滋賀県（公立）	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙【58】

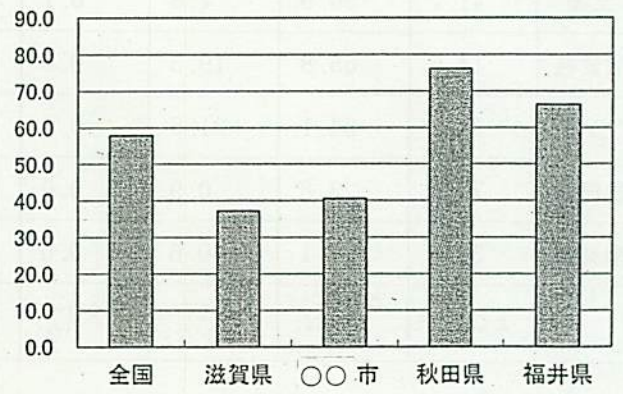
調査対象	1	2	3		
全国	21.7	67.0	11.1		0.2
滋賀県	11.0	73.7	15.4		0.0
〇〇市	5.4	83.8	10.8		0.0
秋田県	45.4	51.5	1.8		1.3
福井県	28.3	69.7	2.0		0.0
	よく行った	行った	ほとんど行っていない		その他無回答



平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたかに「よく行った」と答えた割合

学校質問紙【117】

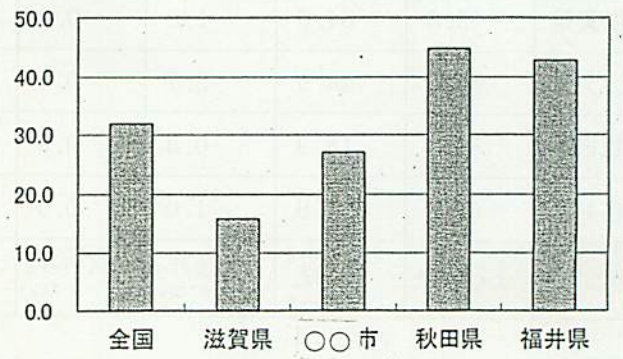
調査対象	1	2	3	4	
全国	57.9	40.0	1.9	0.0	0.2
滋賀県	37.3	60.1	1.8	0.0	0.9
〇〇市	40.5	59.5	0.0	0.0	0.0
秋田県	76.2	22.5	0.4	0.0	0.9
福井県	66.2	32.8	1.0	0.0	0.0
	よくしている	どちらかといえば、している	あまりしていない	全くしていない	その他無回答



学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますかに「よくしている」と答えた割合

学校質問紙【112】

調査対象	1	2	3	4	
全国	31.9	62.9	5.0	0.0	0.1
滋賀県	15.8	76.8	7.5	0.0	0.0
〇〇市	27.0	70.3	2.7	0.0	0.0
秋田県	44.9	54.2	0.4	0.0	0.4
福井県	42.9	54.5	2.5	0.0	0.0
	よくしている	どちらかといえば、している	あまりしていない	全くしていない	その他無回答



教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますかに「よくしている」と答えた割合



回答結果集計 [学校・児童質問紙]

滋賀県－学校（公立）

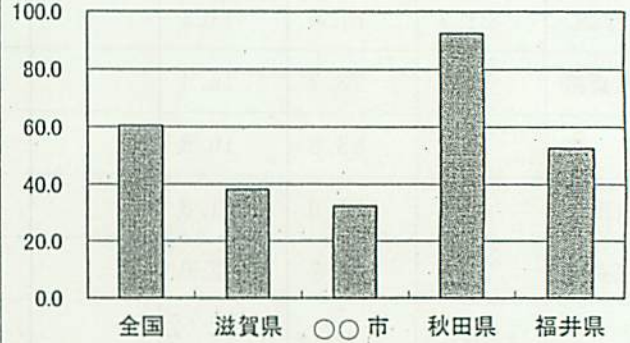
・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

学校数	
滋賀県（公立）	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙【35】

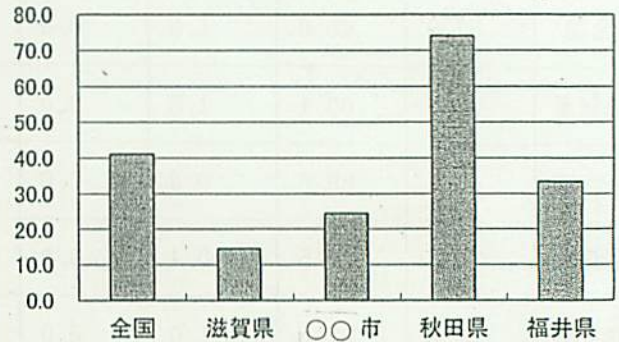
調査対象	1	2	3	4	
全国	60.4	36.1	3.4	0.0	0.1
滋賀県	38.2	56.6	4.8	0.0	0.4
〇〇市	32.4	62.2	5.4	0.0	0.0
秋田県	92.5	5.7	0.4	0.0	1.3
福井県	52.5	43.4	4.0	0.0	0.0
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童に示す活動を計画的に取り入れられたかに「よく行った」と答えた割合

学校質問紙【36】

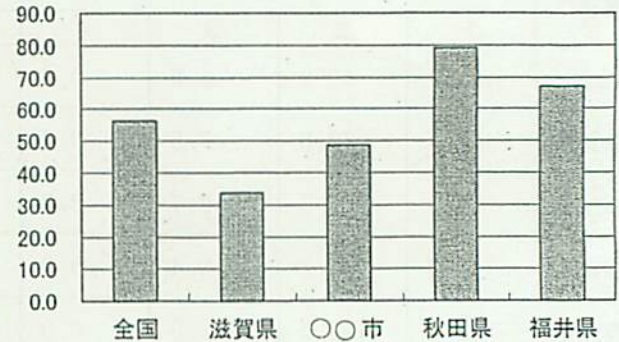
調査対象	1	2	3	4	
全国	41.1	50.9	7.8	0.1	0.1
滋賀県	14.5	65.8	19.3	0.0	0.4
〇〇市	24.3	54.1	21.6	0.0	0.0
秋田県	74.0	23.8	0.9	0.0	1.3
福井県	33.3	56.1	10.6	0.0	0.0
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられたかに「よく行った」と答えた割合

学校質問紙【41】

調査対象	1	2	3	4	
全国	56.3	41.4	2.1	0.0	0.1
滋賀県	33.8	64.0	1.8	0.0	0.4
〇〇市	48.6	48.6	2.7	0.0	0.0
秋田県	79.3	18.9	0.0	0.0	1.8
福井県	67.2	31.8	1.0	0.0	0.0
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対して、前年度までに、学習方法(適切にノートをとるなど)に関する指導をしましたかに「よく行った」と答えた割合



回答結果集計 [学校・児童質問紙]

滋賀県一学校(公立)

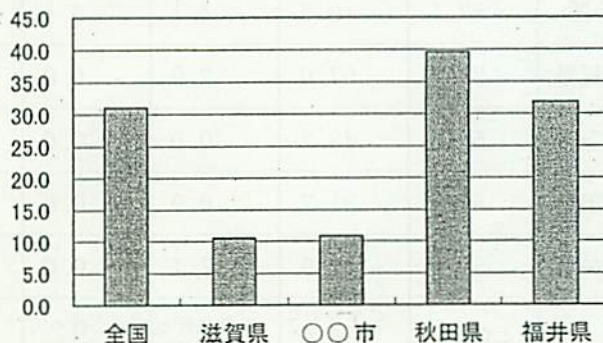
・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

	学校数
滋賀県(公立)	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙【78】

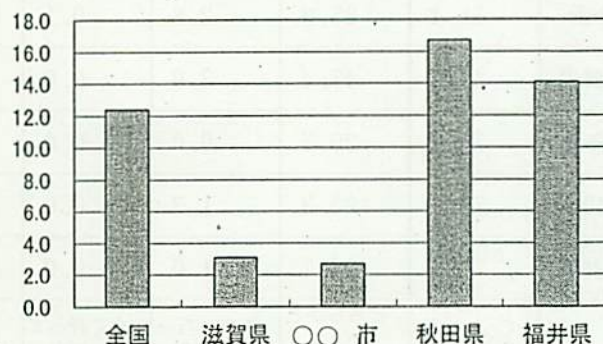
調査対象	1	2	3	4	
全国	31.0	56.3	11.0	1.5	0.1
滋賀県	10.5	60.1	26.8	2.2	0.4
〇〇市	10.8	59.5	29.7	0.0	0.0
秋田県	39.6	52.9	5.3	0.9	1.3
福井県	31.8	51.0	13.6	3.5	0.0
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたかに「よく行った」と答えた割合

学校質問紙【71】

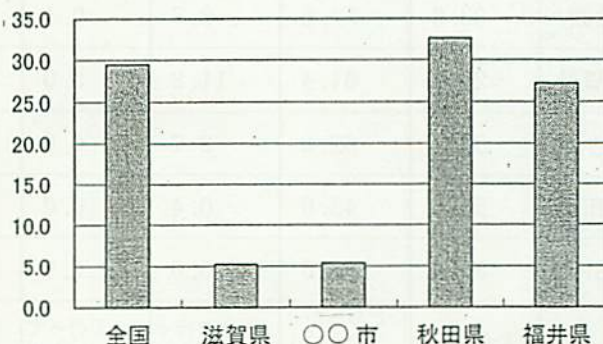
調査対象	1	2	3	4	
全国	12.4	55.4	28.6	3.5	0.1
滋賀県	3.1	46.5	42.5	7.5	0.4
〇〇市	2.7	48.6	45.9	2.7	0.0
秋田県	16.7	59.5	21.6	0.9	1.3
福井県	14.1	52.5	29.3	4.0	0.0
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたかに「よく行った」と答えた割合

学校質問紙【32】

調査対象	1	2	3	4	
全国	29.5	19.4	12.8	38.2	0.2
滋賀県	5.2	3.9	12.7	77.6	0.4
〇〇市	5.4	10.8	8.1	75.7	0.0
秋田県	32.6	26.0	17.2	22.9	1.3
福井県	27.2	18.7	26.3	27.3	0.5
	週1回以上行った	月に数回程度行った	年に数回程度行った	行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたかに「週1回以上行った」と答えた割合



回答結果集計 [学校・児童質問紙]

滋賀県一学校（公立）

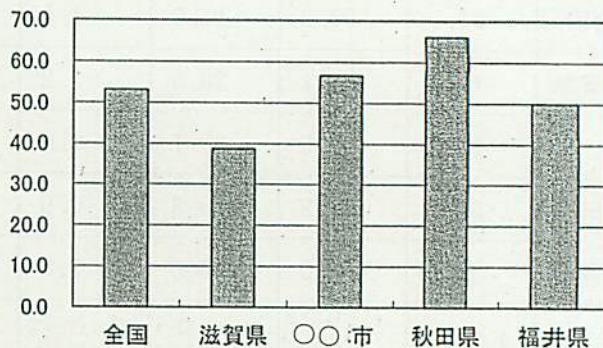
・以下の集計値は、4月24日に調査を実施した学校の結果を集計した値である。

	学校数
滋賀県（公立）	228

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙【96】

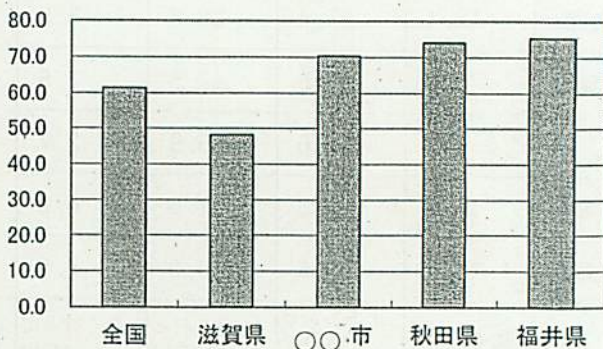
調査対象	1	2	3	4	
全国	53.1	42.5	4.1	0.1	0.1
滋賀県	38.6	57.0	3.9	0.0	0.4
〇〇市	56.8	43.2	0.0	0.0	0.0
秋田県	66.1	31.7	0.9	0.0	1.3
福井県	50.0	42.9	7.1	0.0	0.0
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか  
に「よく行った」と答えた割合

学校質問紙【102】

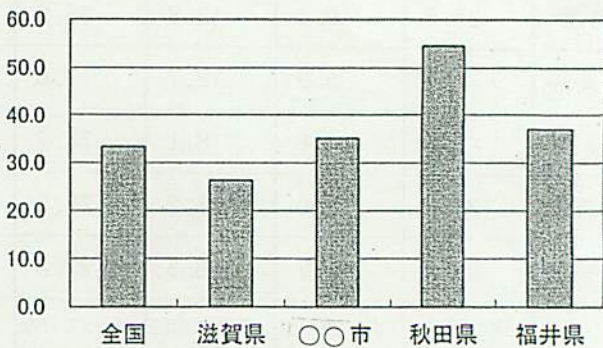
調査対象	1	2	3	4	
全国	61.4	35.6	2.8	0.1	0.1
滋賀県	48.2	47.4	3.9	0.0	0.4
〇〇市	70.3	29.7	0.0	0.0	0.0
秋田県	74.0	23.3	1.3	0.0	1.3
福井県	75.3	23.7	1.0	0.0	0.0
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答



第6学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(長期休業の課題を除く)について、評価・指導をしましたか  
に「よく行った」と答えた割合

学校質問紙【104】

調査対象	1	2	3	4	
全国	33.3	57.6	8.7	0.1	0.2
滋賀県	26.3	61.4	11.8	0.0	0.4
〇〇市	35.1	62.2	2.7	0.0	0.0
秋田県	54.6	43.6	0.4	0.0	1.3
福井県	36.9	56.6	5.6	0.5	0.5
	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	全く行っていない	その他無回答

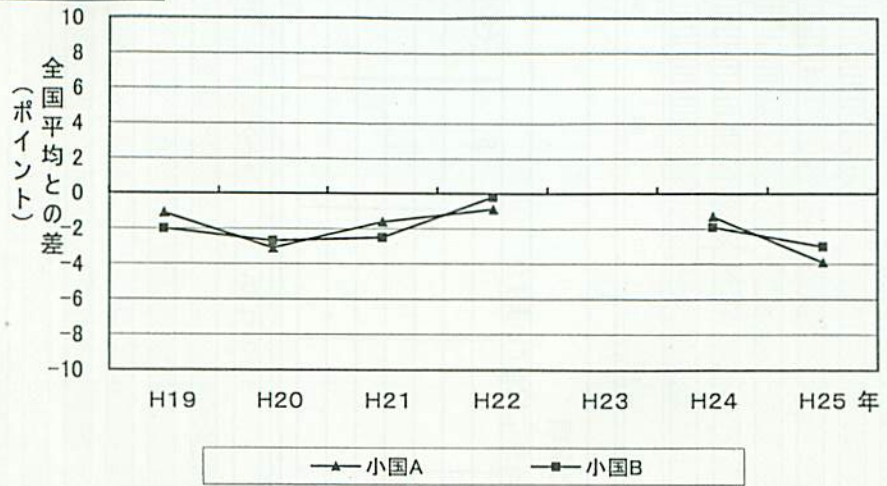


第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか(国・算共通)に「よく行った」と答えた割合



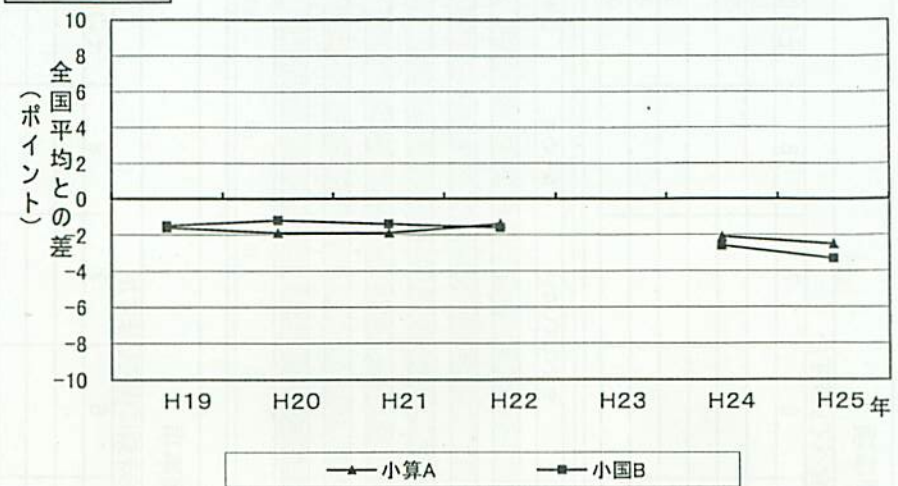
### 小国

平均正答率の全国平均との比較, 経年変化



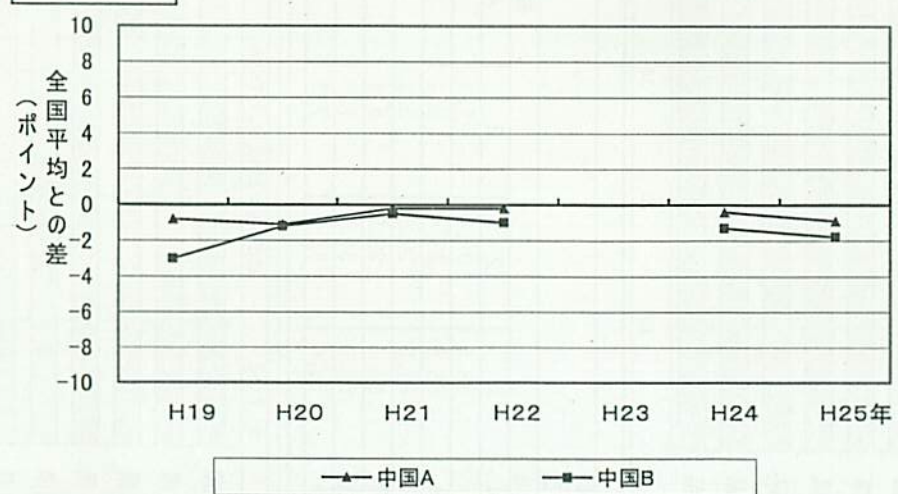
### 小算

平均正答率の全国平均との比較, 経年変化



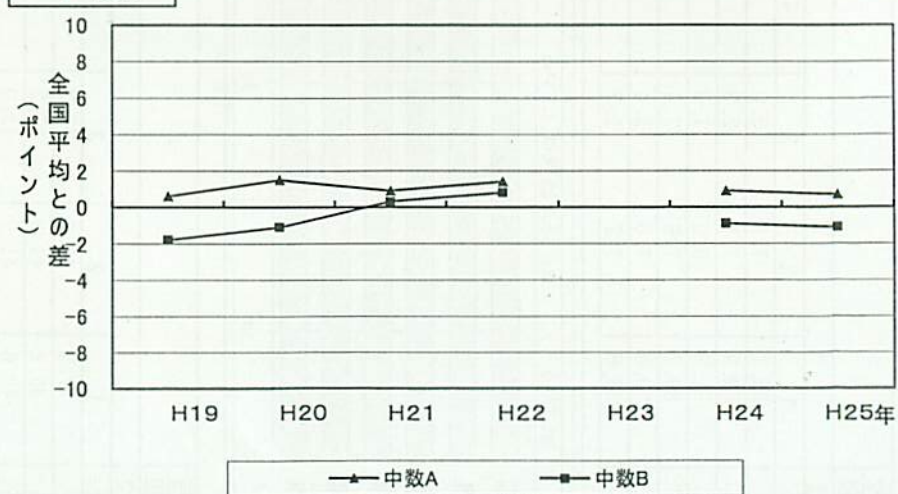
### 中国

平均正答率の全国平均との比較, 経年変化



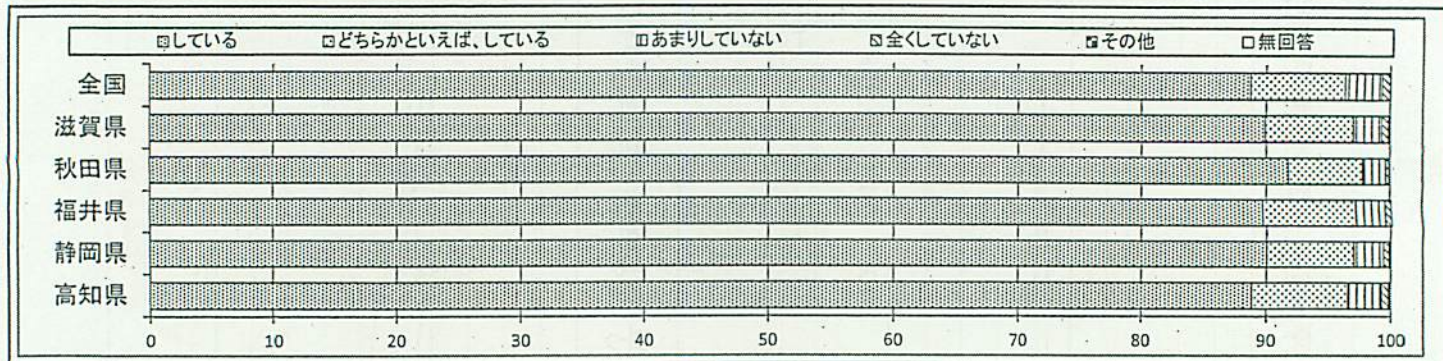
### 中数

平均正答率の全国平均との比較, 経年変化

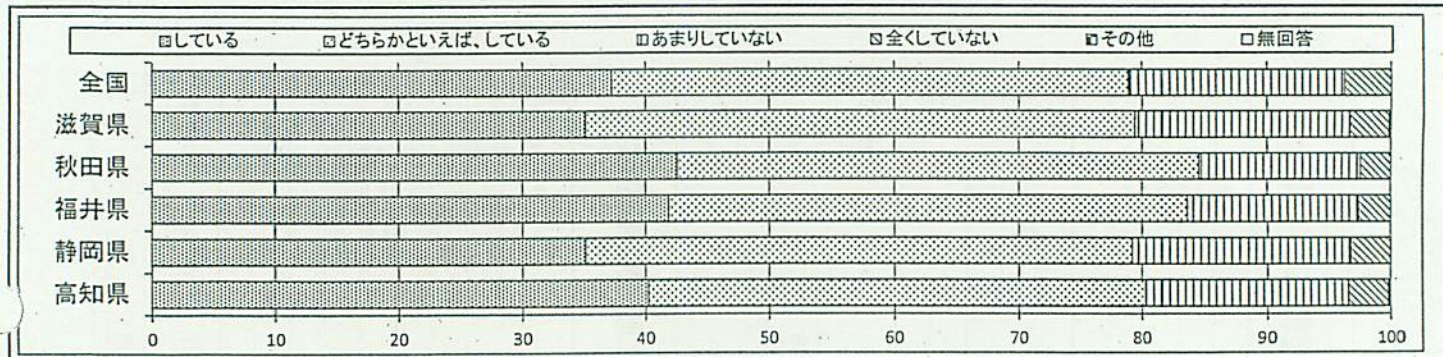




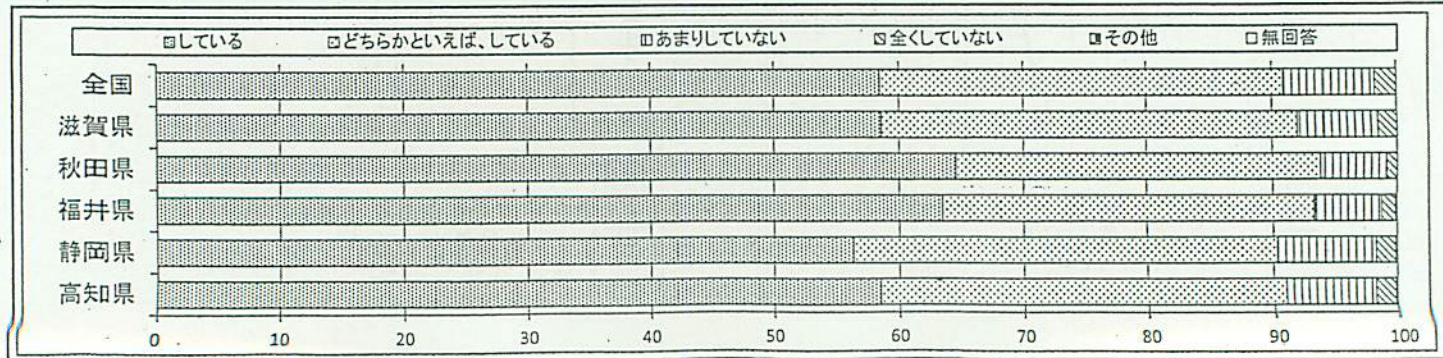
質問番号			質問事項							
I	II	III								
1	1	1	朝食を毎日食べていますか							
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
全国	88.7	7.6	3.0	0.7					0.0	0.0
滋賀県	89.9	7.1	2.3	0.6					0.1	0.0
秋田県	91.7	6.0	1.9	0.3					0.0	0.0
福井県	89.7	7.5	2.4	0.5					0.0	0.0
静岡県	90.0	7.0	2.4	0.5					0.1	0.0
高知県	88.8	7.7	2.7	0.6					0.1	0.0



質問番号			質問事項							
I	II	III								
2	2	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか							
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
全国	37.2	41.7	17.3	3.8					0.0	0.0
滋賀県	35.1	44.3	17.2	3.2					0.1	0.0
秋田県	42.6	41.9	13.0	2.5					0.0	0.0
福井県	41.9	41.7	13.7	2.7					0.0	0.0
静岡県	35.1	44.1	17.5	3.3					0.0	0.0
高知県	40.2	40.1	16.2	3.3					0.1	0.0

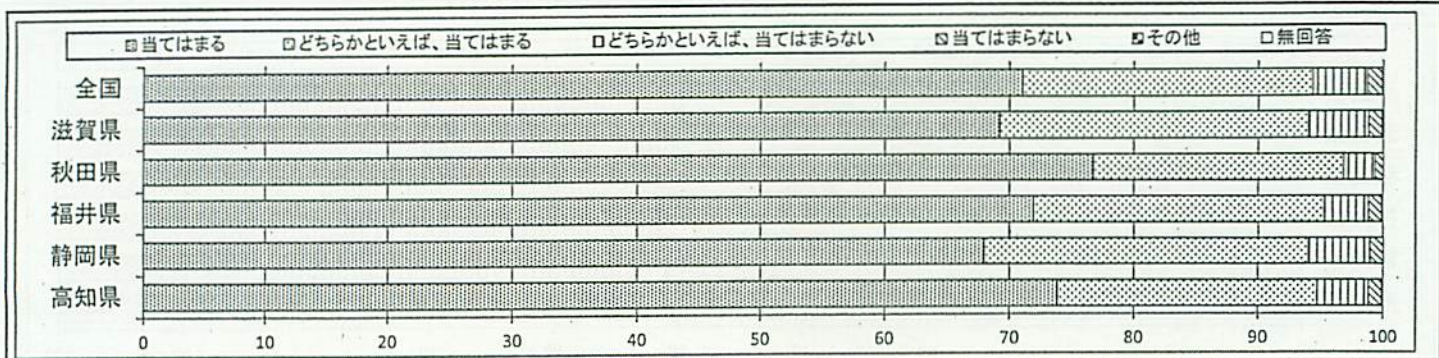


質問番号			質問事項							
I	II	III								
3	3	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか							
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
全国	58.5	32.4	7.3	1.8					0.0	0.0
滋賀県	58.6	33.4	6.4	1.6					0.0	0.0
秋田県	64.5	29.3	5.3	0.9					0.0	0.0
福井県	63.4	29.9	5.4	1.2					0.0	0.0
静岡県	56.3	34.0	7.9	1.7					0.0	0.0
高知県	58.5	32.5	7.2	1.7					0.0	0.0

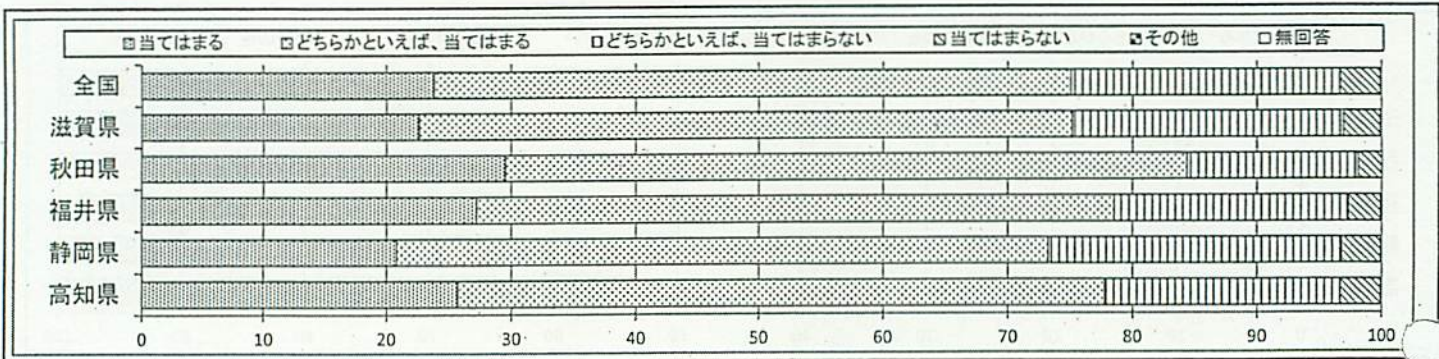




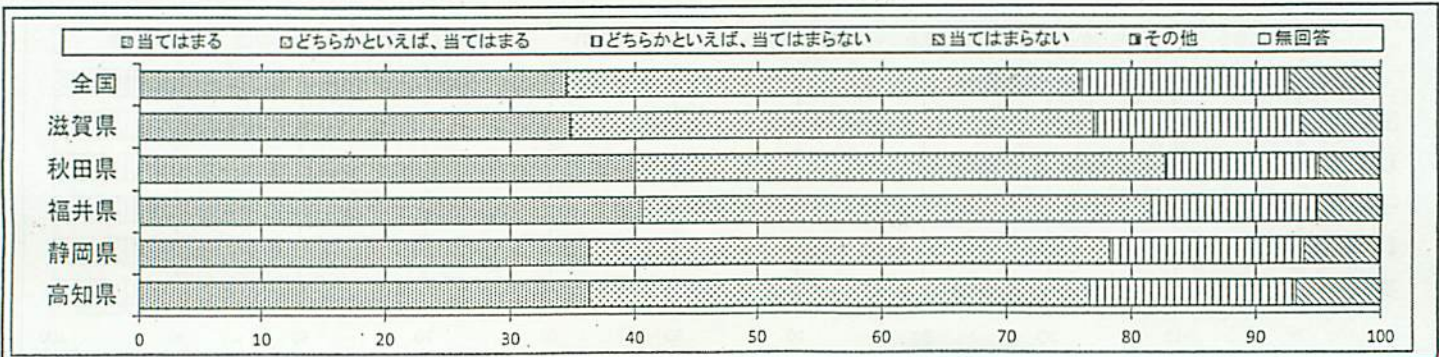
質問番号			質問事項									
I	II	III	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか									
4	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢												
全国			71.0	23.3	4.4	1.2					0.0	0.0
滋賀県			69.2	24.8	4.8	1.1					0.1	0.0
秋田県			76.7	20.1	2.5	0.7					0.0	0.0
福井県			71.9	23.4	3.5	1.1					0.0	0.0
静岡県			67.9	26.1	4.9	1.1					0.0	0.0
高知県			73.8	20.9	4.1	1.1					0.0	0.0



質問番号			質問事項									
I	II	III	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか									
5	5	5	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢												
全国			23.8	51.2	21.6	3.3					0.0	0.0
滋賀県			22.6	52.5	21.8	3.0					0.0	0.0
秋田県			29.5	54.9	13.7	1.9					0.0	0.0
福井県			27.2	51.3	18.8	2.6					0.1	0.0
静岡県			20.8	52.4	23.5	3.2					0.0	0.0
高知県			25.7	52.0	18.9	3.3					0.0	0.0

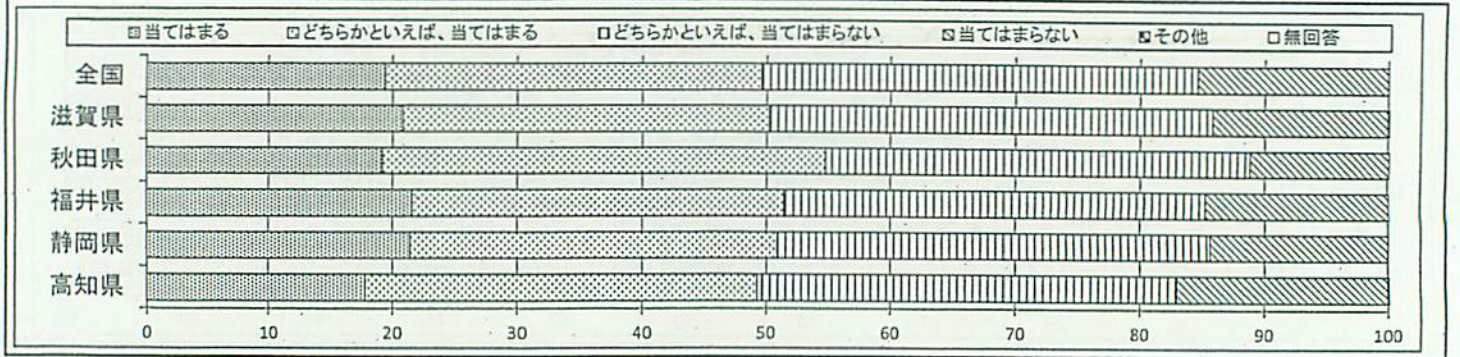


質問番号			質問事項									
I	II	III	自分には、よいところがあると思いますか									
6	6	6	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢												
全国			34.5	41.2	16.9	7.3					0.0	0.0
滋賀県			34.8	42.1	16.6	6.5					0.1	0.1
秋田県			40.0	42.7	12.3	4.9					0.0	0.0
福井県			40.6	41.0	13.2	5.2					0.1	0.0
静岡県			36.3	41.9	15.6	6.1					0.1	0.0
高知県			36.3	40.3	16.5	6.9					0.0	0.0

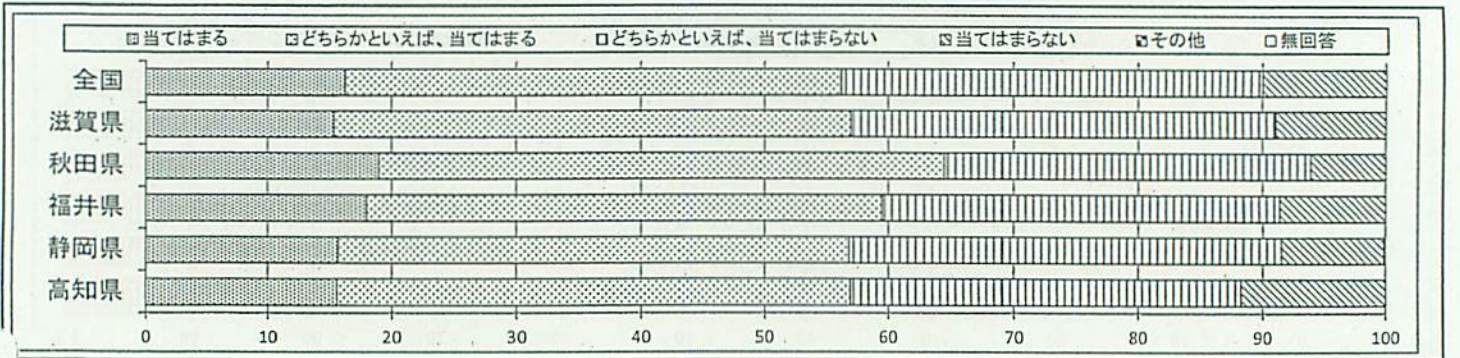




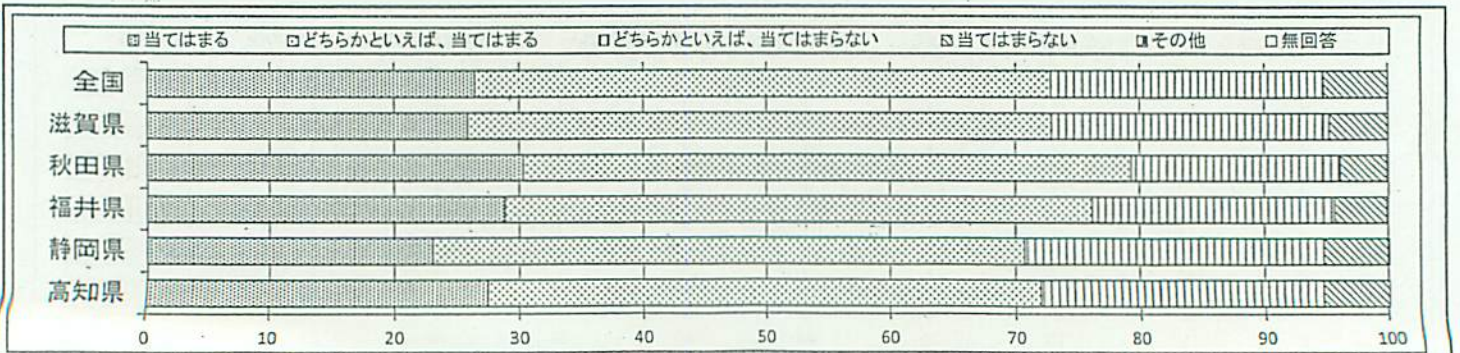
質問番号			質問事項							
I	II	III								
		7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか							
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
全国	19.4	30.2	35.0	15.4					0.0	0.0
滋賀県	20.8	29.4	35.6	14.2					0.0	0.1
秋田県	19.2	35.6	34.0	11.3					0.0	0.0
福井県	21.6	29.8	33.8	14.9					0.0	0.0
静岡県	21.4	29.5	34.7	14.4					0.0	0.0
高知県	17.8	31.5	33.6	17.1					0.1	0.0



質問番号			質問事項							
I	II	III								
		8	自分の行動や発言に自信を持っていますか							
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
全国	16.3	39.9	33.8	10.0					0.0	0.0
滋賀県	15.4	41.6	34.1	8.9					0.0	0.0
秋田県	19.0	45.4	29.5	6.1					0.0	0.0
福井県	18.0	41.5	31.9	8.6					0.0	0.0
静岡県	15.7	41.1	34.7	8.4					0.0	0.0
高知県	15.6	41.3	31.4	11.7					0.0	0.0

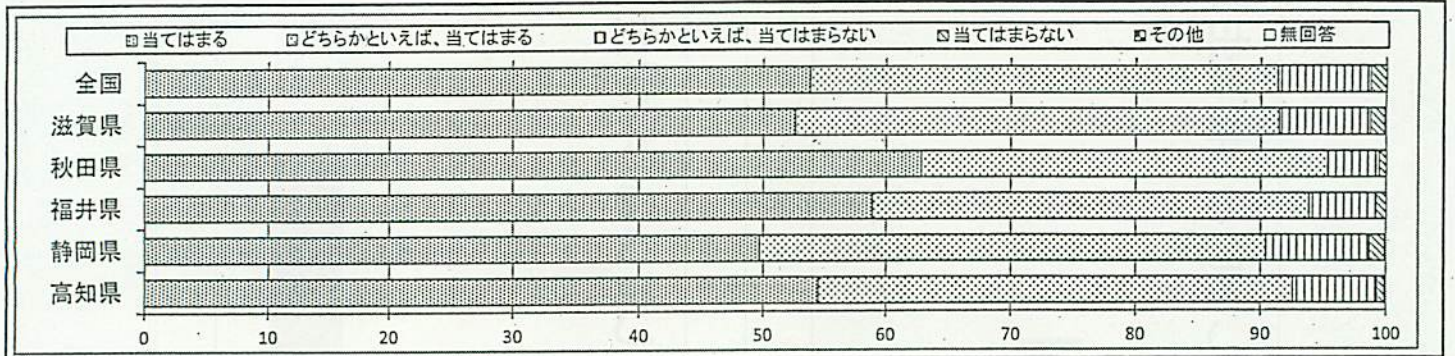


質問番号			質問事項							
I	II	III								
		9	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか							
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
全国	26.5	46.3	21.9	5.3					0.0	0.0
滋賀県	25.9	47.0	22.3	4.8					0.0	0.0
秋田県	30.3	49.0	16.8	3.8					0.0	0.0
福井県	28.9	47.2	19.5	4.3					0.0	0.0
静岡県	23.1	47.6	24.0	5.3					0.1	0.0
高知県	27.5	44.5	22.7	5.4					0.0	0.0

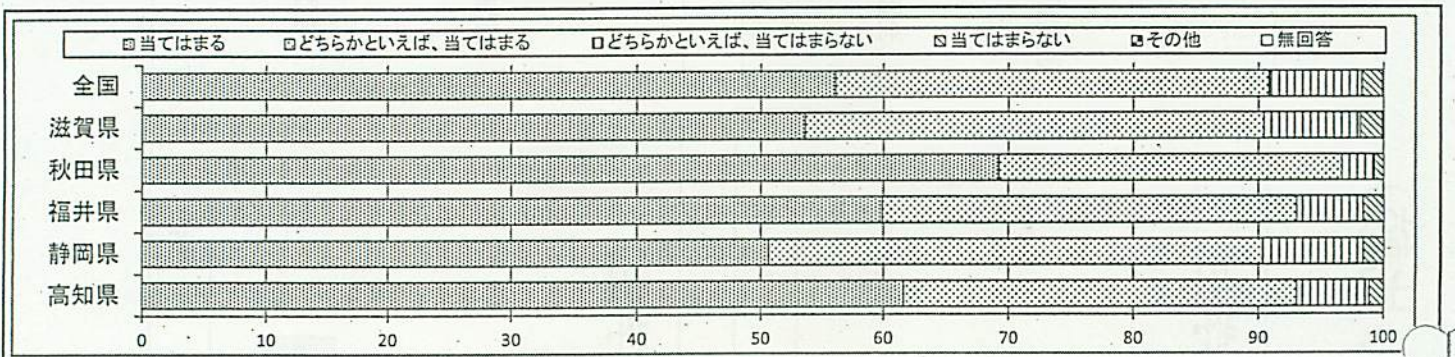




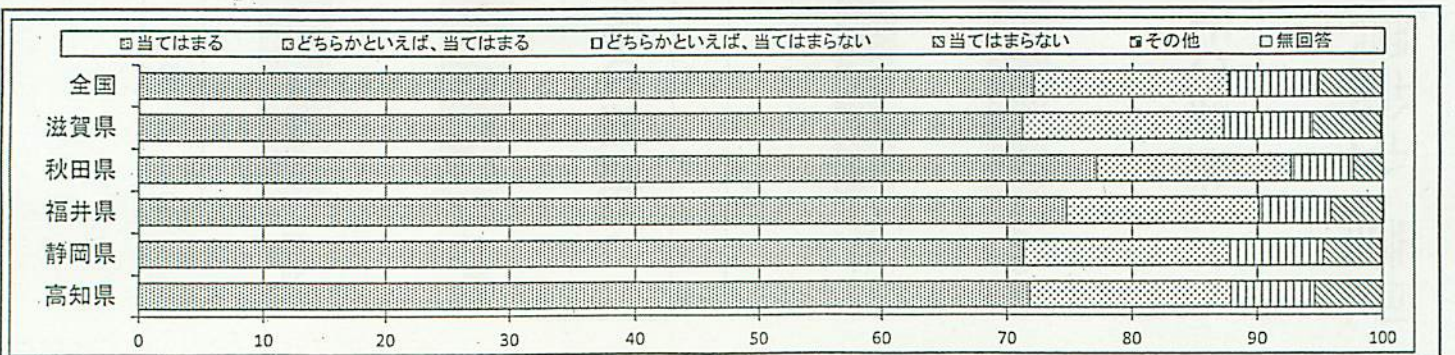
質問番号			質問事項									
I	II	III	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか									
		10	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢												
全国			53.8	37.5	7.4	1.3					0.0	0.0
滋賀県			52.6	38.8	7.3	1.2					0.0	0.0
秋田県			62.8	32.5	4.1	0.6					0.0	0.0
福井県			58.9	34.9	5.3	0.9					0.0	0.0
静岡県			49.7	40.7	8.2	1.3					0.0	0.0
高知県			54.5	38.0	6.7	0.7					0.0	0.0



質問番号			質問事項									
I	II	III	一人一人の人間には考えや性格などに違いがあるということを大切にしていますか									
		11	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢												
全国			56.1	34.7	7.4	1.7					0.0	0.0
滋賀県			53.6	36.8	7.7	1.8					0.1	0.0
秋田県			69.2	27.4	2.6	0.8					0.0	0.0
福井県			59.9	33.1	5.3	1.7					0.0	0.0
静岡県			50.6	39.7	8.0	1.7					0.0	0.0
高知県			61.6	31.4	5.8	1.2					0.0	0.0



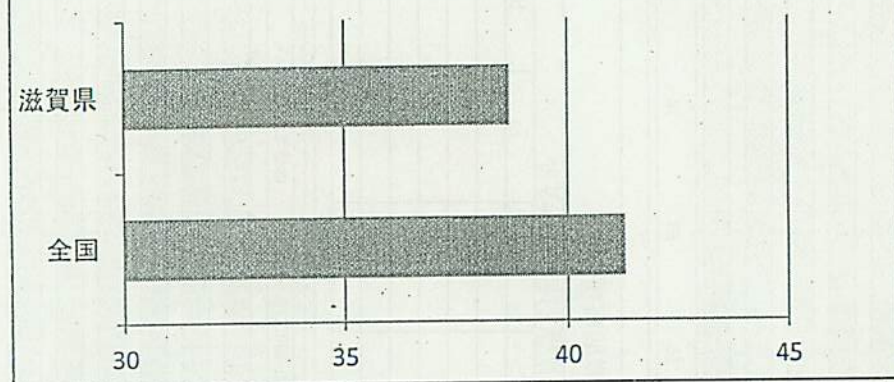
質問番号			質問事項									
I	II	III	将来の夢や目標を持っていますか									
7	7	12	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢												
全国			72.1	15.6	7.1	5.1					0.1	0.0
滋賀県			71.2	16.1	7.0	5.5					0.1	0.0
秋田県			77.1	15.5	5.0	2.4					0.0	0.0
福井県			74.7	15.4	5.7	4.2					0.1	0.0
静岡県			71.3	16.5	7.4	4.7					0.1	0.0
高知県			71.8	16.1	6.6	5.5					0.0	0.0



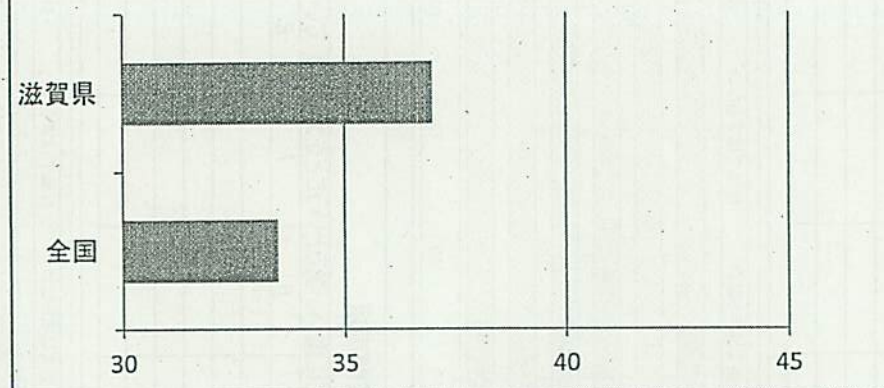


# 児童・生徒質問紙(全国との比較)

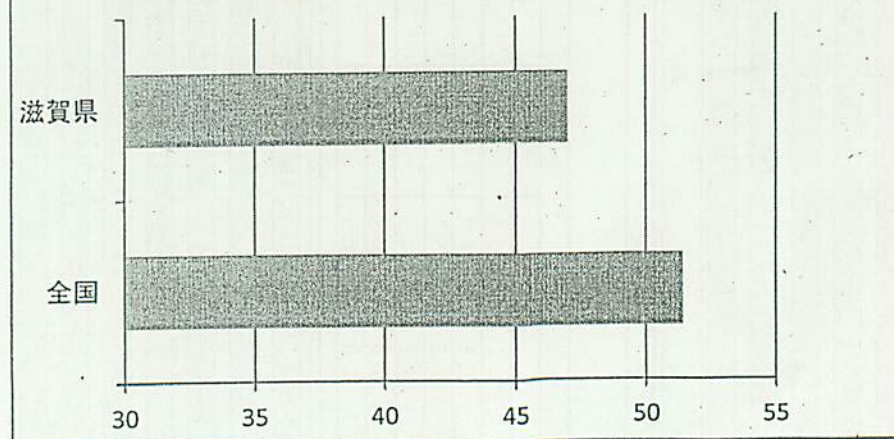
## 授業の予習をしている(小学生)



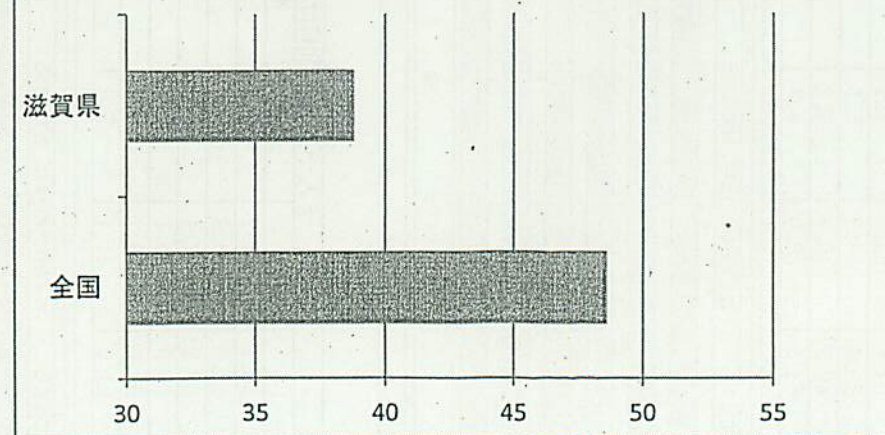
## 授業の予習をしている(中学生)



## 授業の復習をしている(小学生)

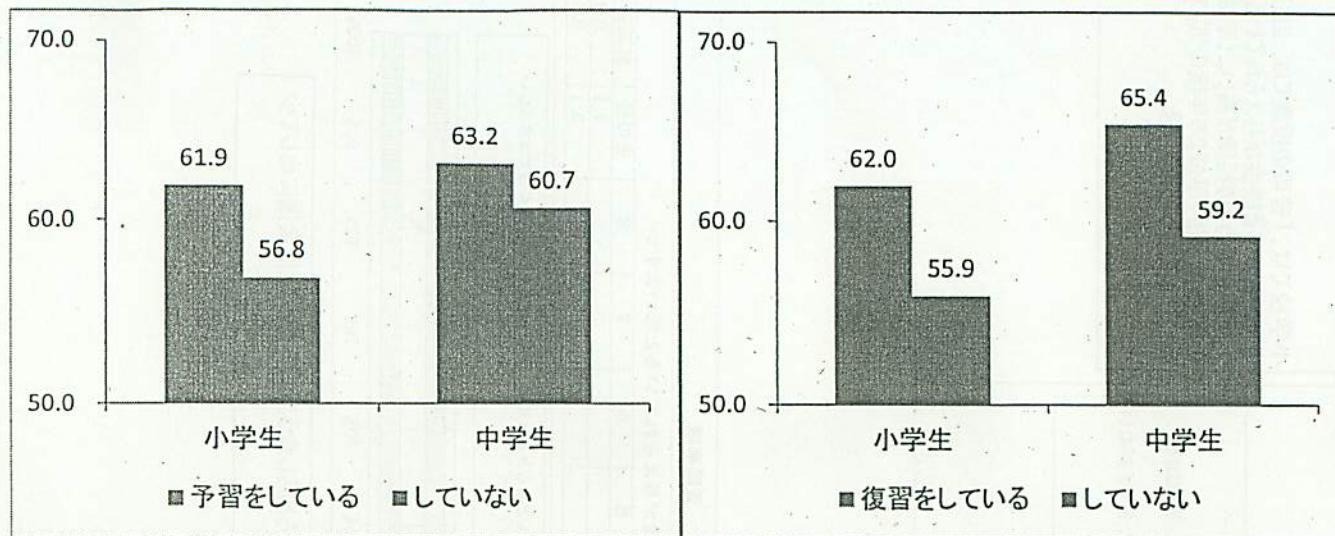


## 授業の復習をしている(中学生)

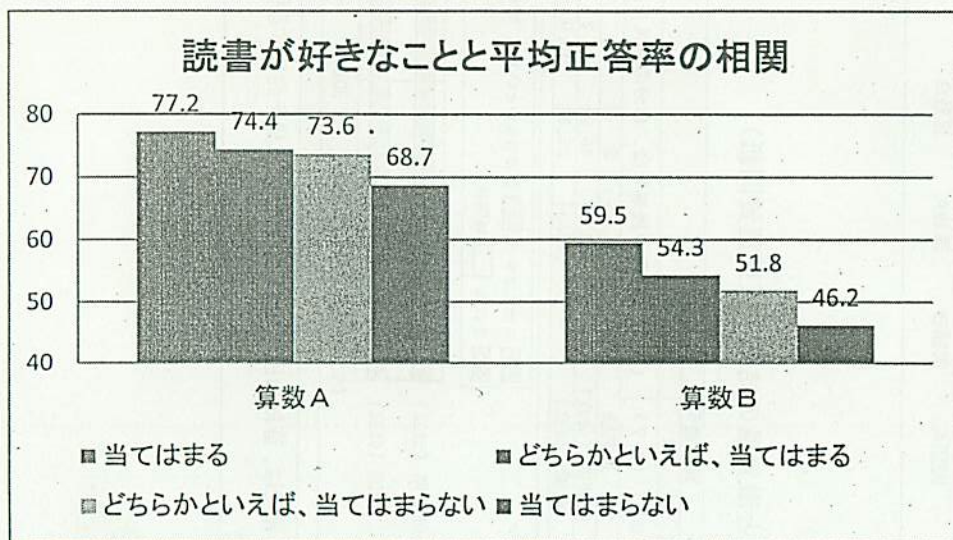




## 予習・復習をしていることと平均正答数(4教科平均)とのクロス集計



## 読書が好きなことと算数A・Bの平均正答数との相関





クロス集計表 [児童質問紙一教科]

滋賀県教育委員会

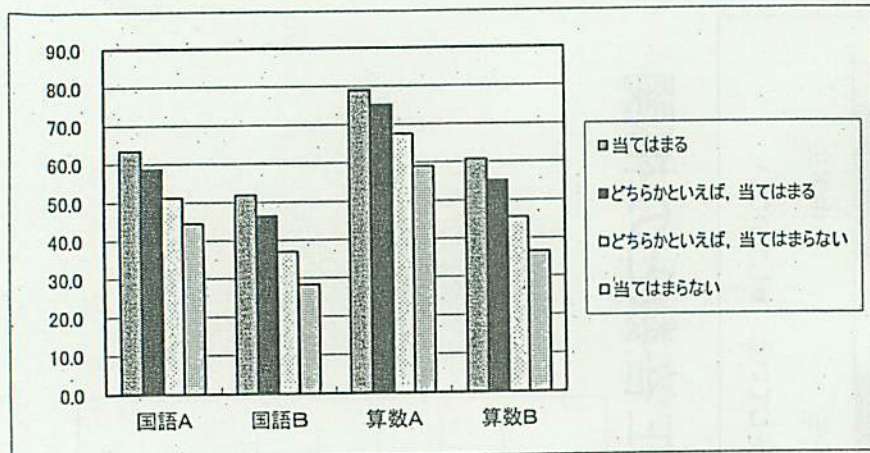
・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。  
 ※4月24日に、教科に関する調査(国語A、国語B、算数A、算数B)を一つ以上実施し、かつ、児童質問紙調査を実施した児童の結果を対象としている。

質問番号	質問事項
(55)	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

児童数	13,965
-----	--------

<平均正答率%>との相関(全国)

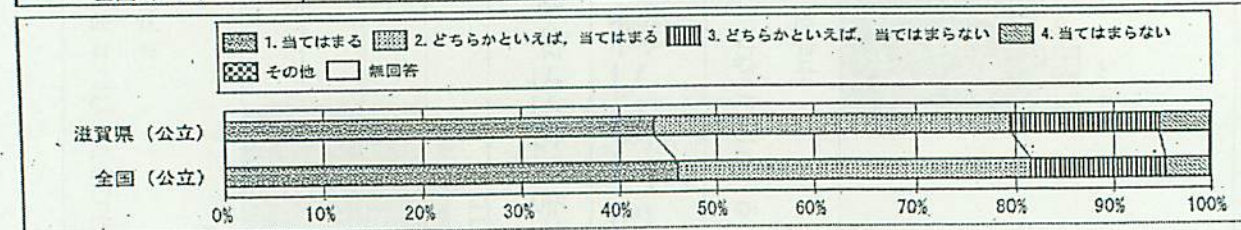
選択肢		国語A	国語B	算数A	算数B
1	当てはまる	63.4	51.8	78.9	60.7
2	どちらかといえば、当てはまる	58.6	46.4	75.1	55.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	51.1	37.0	67.5	45.5
4	当てはまらない	44.4	28.3	58.9	36.5



小学校では、「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」が最も学力との相関が高い。(平成20年度追加分析)平成25年度のクロス集計でもほぼ同じ結果である。

全国と滋賀県の結果1(児童質問紙)

質問番号			質問事項									
I	II	III	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか									
(49)	(47)	(55)	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢			1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
滋賀県(公立)			43.6	35.9	15.2	5.1					0.1	0.1
全国(公立)			46.0	35.5	13.9	4.4					0.1	0.1



滋賀県では、普段の授業の中で、自分の意見を発表する機会や友達と話し合う活動を行うことは全国に比して少ない。



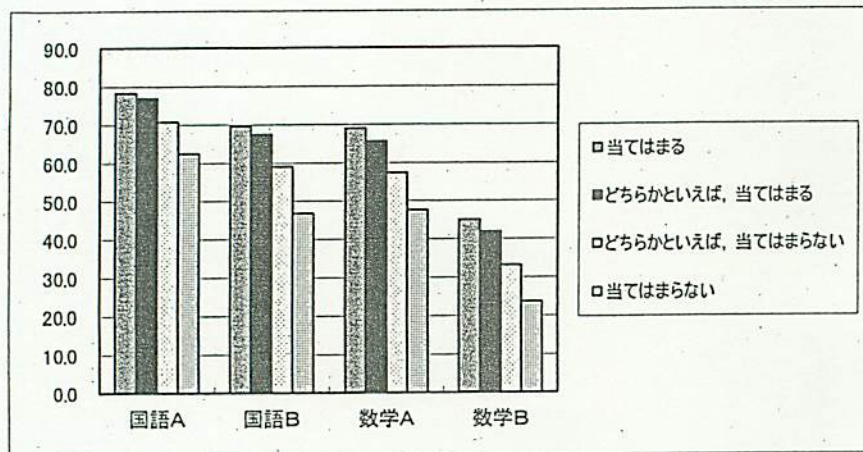
・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。  
 ※4月24日に、教科に関する調査（国語A、国語B、算数A、算数B）を一つ以上実施し、かつ、児童質問紙調査を実施した児童の結果を対象としている。

質問番号	質問事項
(56)	普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

児童数	10,725
-----	--------

<平均正答率%>との相関（全国）

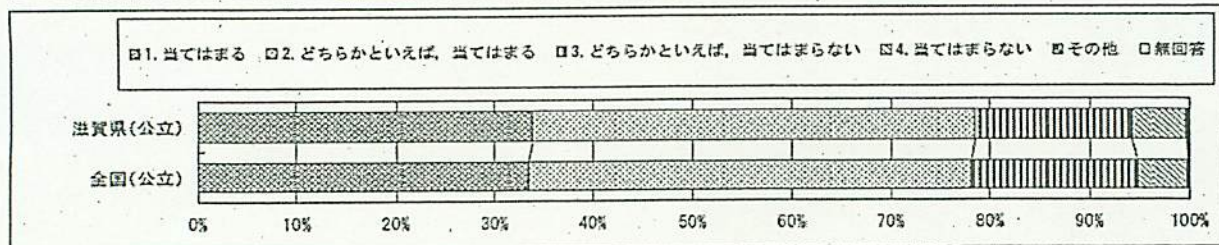
選択肢		国語A	国語B	数学A	数学B
1	当てはまる	78.3	69.6	69.0	45.0
2	どちらかといえば、当てはまる	77.0	67.5	65.7	41.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	70.8	59.1	57.4	33.1
4	当てはまらない	62.5	46.8	47.6	23.7



中学校では、「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」は学力との相関が高いほうだが、トップではない。（平成20年度追加分析）平成25年度のクロス集計でもほぼ同じ結果である。（当てはまる、どちらかといえばの2つに有意な差が認められにくい。）

全国と滋賀県の結果1（生徒質問紙）

質問番号			質問事項									
I	II	III	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか									
(49)	(47)	(56)	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
選択肢			1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
滋賀県（公立）			33.8	44.6	15.7	5.5					0.1	0.2
全国（公立）			33.4	44.8	16.6	5.1					0.0	0.2



滋賀県では、普段の授業の中で、自分の意見を発表する機会や友達と話し合う活動を行うことは全国に比してほぼ同じ。（肯定的な回答で+0.1）



平成26年度  
教育長市町教育委員会訪問資料

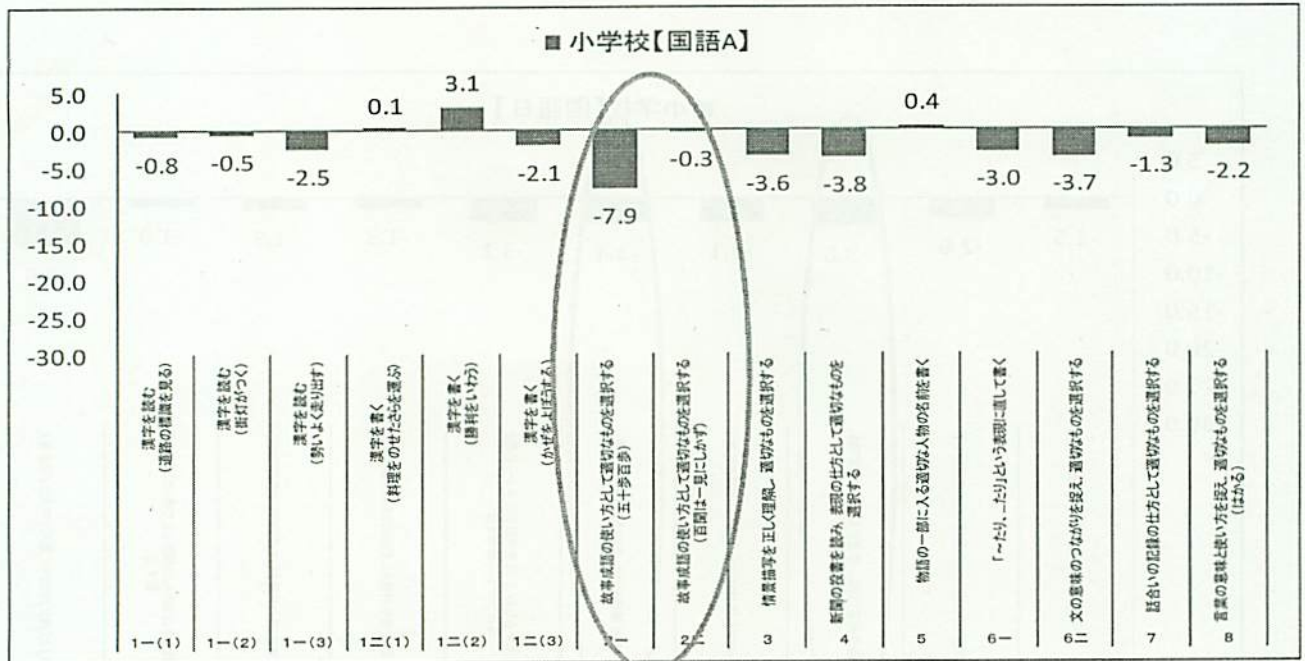
平成26年10月 日  
滋賀県教育委員会事務局学校教育課



○平成 26 年度全国学力・学習状況調査 全国の平均正答率との差による問題分析  
【グラフの説明】

問題別の平均正答率を全国の平均正答率と比較し、その差をグラフに表した。平均正答率が高い、低いを表していないため、課題があることを直接示すものではないが、どのような問題から改善すればよいかを示唆するものである。

滋賀県 各設問ごとに全国との平均正答率の差をグラフにしたもの 小学校 国語



【小学校国語① 故事成語・ことわざ】

○問題の概要と平均正答率

H 2 6 A 2一 故事成語の使い方として適切なものを選択する (「五十歩百歩」)

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項・選択式)

平均正答率 47.9%(全国 55.8%) 全国との差 -7.9 無解答率 0.3%(全国 0.3%)

H 2 5 A 2一 ことわざの意味として適切なものを選択する (「石の上にも三年」)

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項・選択式)

平均正答率 71.4%(全国 71.1%) 全国との差 +0.3 無解答率 2.1%(全国 1.2%)

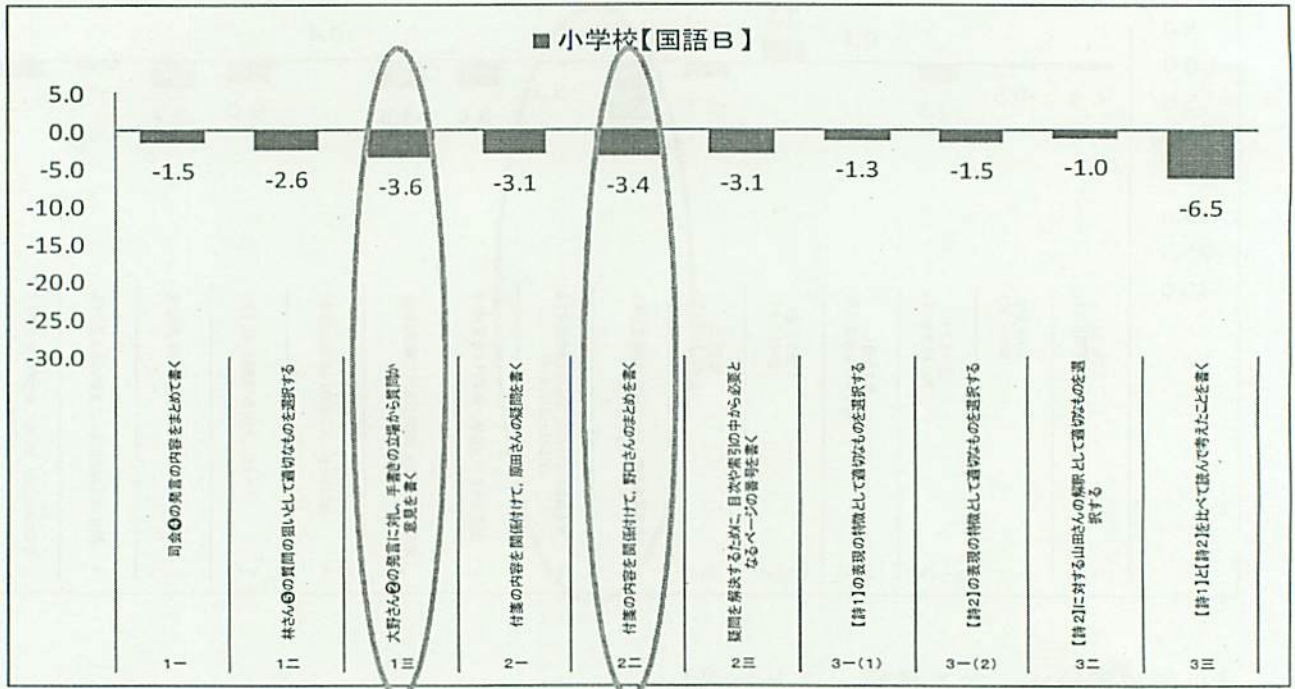
○比較分析

H 2 5 は、ことわざの辞書的な意味を問う設問であり、平均正答率が 70% を越えていることから、まずまず理解できていると考えられる。しかし、H 2 6 で問われたように、実際の生活場面における故事成語の適切な意味理解になると、20 ポイント以上下がっていることから、単なる辞書的な意味理解ではなく、実生活で生きて働く言葉の力としては定着していないと考えられる。故事成語の適切な使い方についての学習を深める必要がある。



○今後の指導

- ⇒ 4年生以上で、授業はもちろん普段の生活の中で、積極的に故事成語やことわざを用いて表現する機会を設ける。出来事の説明や報告をする際に故事成語等を用いたり、新聞や物語、随筆などを書くときに故事成語等を意図的に取り入れて書いたり、文章に出てくる故事成語等を国語辞典等を使って調べたりすることが大切である。
- ⇒ そのためには、短い時間で取り立てて指導したり、週や月に何回と決めて取り組ませたり、年間指導計画に何回か位置付けて繰り返して指導することが大切である。



【小学校国語② 引用して書く】

○問題の概要と平均正答率

H 2 6 B 1 三 立場を明確にして、質問や意見を述べる（書くこと・記述式）

平均正答率 24.7%（全国 28.3%） 全国との差 -3.6 無解答率 6.7%（全国 5.0%）

H 2 5 B 2 二 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く（書くこと・短答式）

平均正答率 23.7%（全国 26.2%） 全国との差 -2.5 無解答率 17.7%（全国 13.3%）

○比較分析

H 2 5 は、図鑑の一部の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書くことを問う設問であり、条件に合わせて適切に引用することができておらず、平均正答率も低かった。また、H 2 6 は、相手の発言を引用して質問や意見を述べるのが問われ、やはり条件に合わせて適切に引用することができておらず、平均正答率も伸びなかった。

授業の中に、条件に合わせて必要な箇所を適切に引用する学習をどれくらい取り入れ



ているかが影響しているのではないかと考えられることから、条件に合わせて適切に引用する学習を積極的に取り入れる必要がある。

#### ○今後の指導

⇒原文や話の内容を正確に引用することや、引用する部分と自分の考えとの関係を明確にすることが大切である。また、書く際には、引用する部分を「」でくくることや引用した文章の出典について明記すること、引用する部分が適切な量になることなどについて、具体的に指導することが大切である。

#### 【小学校国語③ 関係付けて書く】

##### ○問題の概要と平均正答率

H 2 6 B ② 二 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く（書くこと・読むこと・記述式）

平均正答率 23.5% (全国 26.9%) 全国との差 -3.4 無解答率 9.2% (全国 7.4%)

H 2 5 B ② 三 目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く（書くこと・記述式）

平均正答率 15.6% (全国 17.8%) 全国との差 -2.2 無解答率 24.7% (全国 20.4%)

##### ○比較分析

H 2 5 は、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くことを問う設問であり、複数の内容を取り出して関係付けて書くことが適切にできておらず、平均正答率が非常に低かった。また、H 2 6 も、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くことが問われ、「二文を一文にする」「『例えば』を使って書く」という条件にそって適切に書くことができておらず、平均正答率も伸びなかった。

条件に合わせて複数の内容を関係付けて書くことをもっと日頃の授業の中で取り組む必要がある。

##### ○今後の指導

⇒指定された条件である「二文を一文にして書く」「『例えば』という言葉を使って書く」にそって書くことができていない。

⇒「二文を一文にして書く」ことについては、示されている二つの内容を整理し、どんな言葉でつないで表すかを具体的な文例をもとに指導する。

##### 本設問の例

すぐれた鼻を使うことで、水や食べ物をさがすこともできます。また、  
においのちがいで仲間を見つけることもできます。

「また」を、「～たり、…たり」「～や…」「～こと、…こと」などを使って置き換える。



すぐれた鼻を使うことで、水や食べ物をさがしたり、においのちがいで仲間を見つけたりすることもできます。

⇒『例えば』という言葉を使って書く」ことについては、「例えば」の前には、結論が、後ろには具体例が、それぞれ挙げられていることに気付かせ、具体例を通して指導する。

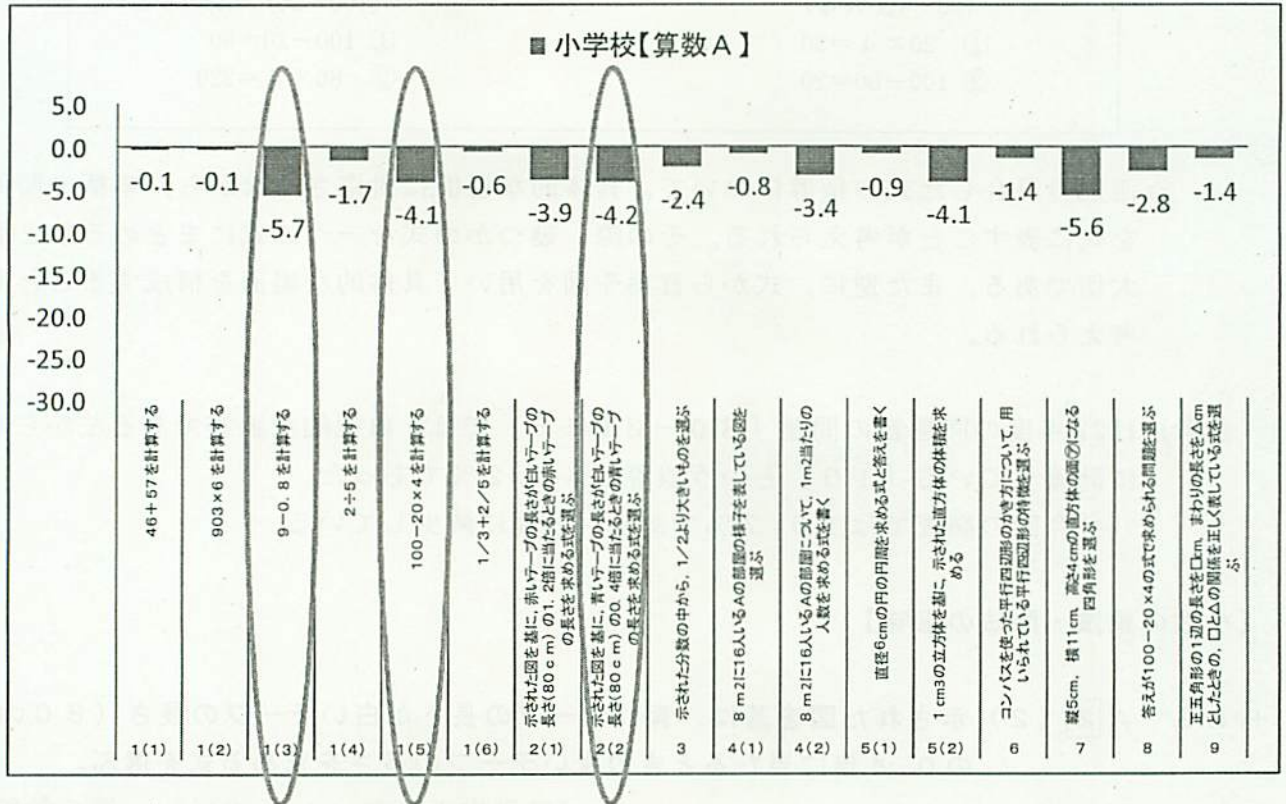
#### 本設問の例

鼻の短い動物の鼻の役目は何かということだ。例えば、カバやブタは、鼻を使って何ができるのか調べたい。

「例えば」の前は、「鼻の短い動物の鼻の役目は何か」、後ろは、具体例として「カバやブタ」が挙げられていることを踏まえて、与えられた「野口さんのふせん」を書き換える。

においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先においを感じ取るのか調べたい。





課題が見られた問題例

【小数を含む加法・減法】

A 1 (3)  $9 - 0.8$  (県平均正答率 78.1%) 第3学年

- ・ 全国の平均正答率を5.7ポイント下回る。
- ・ 位をそろえずに末尾をそろえて $9 - 8$ を計算し、「0.1」と解答している誤答が14.1%であり、全国と比べて4.3ポイント高い。
- ☆ 9を9.0とみることで位をそろえて計算できるようにする。
- ☆  $9 - 0.8$ の計算の結果を見積もる活動を取り入れる。

(参考) H22年度の同趣旨の問題「 $8 - 0.5$ 」では、全国との差  $-0.3$ であった。

⇒ 全国の平均正答率 H22 → H26  $\Delta 0.6$

滋賀の平均正答率 H22 → H26  $\blacktriangledown 4.8$

【整数の四則計算】

A 1 (5)  $100 - 20 \times 4$  (県平均正答率 76.8%) 第4学年

- ・ 全国の平均正答率を4.1ポイント下回る。
- ・ 式の左の「100-20」から順に計算して、「320」と解答している誤答が19.7%であり、全国と比べて4.0ポイント高い。
- ☆ 乗法を先に計算した場合と減法を先に計算した場合を比較して、式のどの部分から計算するかによって計算結果が異なることを理解できるようにする。



<乗法を先に計算した場合>

$$100 - (20 \times 4)$$

①  $20 \times 4 = 80$

②  $100 - 80 = 20$

<減法を先に計算した場合>

$$(100 - 20) \times 4$$

①  $100 - 20 = 80$

②  $80 \times 4 = 320$

☆四則の混合した式の指導において、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表すことが考えられる。その際、幾つかの式を一つの式にまとめることも大切である。また逆に、式から言葉や図を用いて具体的な場面を構成することも考えられる。

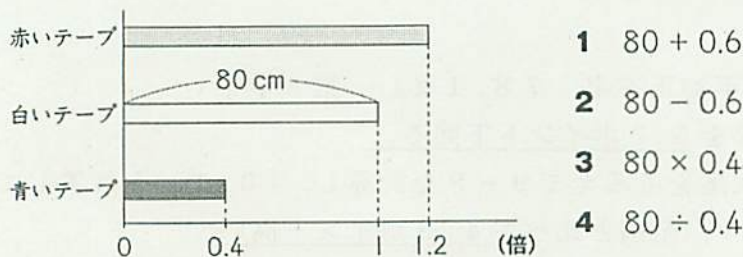
(参考) H21年度の同趣旨の問題「 $80 - 30 \div 5$ 」では、典型的な誤答である左から順に計算している「10」という誤答は30.2%であった。

⇒今回の調査では19.7%であり、大幅に減少している。

#### 【小数の乗法・除法の意味】

H26 A  (2) 示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80 cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。

(県平均正答率 49.9%) 第5学年






- ・ 全国の平均正答率を 4.2ポイント 下回る。
- ・ 「 $80 \div 0.4$ 」の式である「4」を選択している反応率が28.8%であり、図を見て基準量より比較量の方が小さいことから、除法の計算になると判断したと考えられる。

H20 A  (2) 6 mの長さは12 mのテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く。

(県平均正答率 54.4%) 第5学年

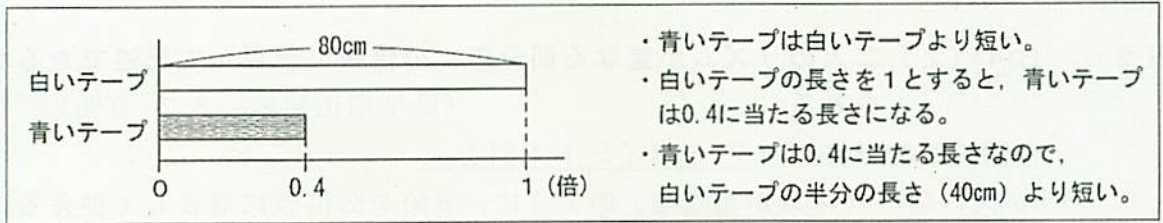
「 $12 \div 6$ 」という解答は24.3%

テープが3本あります。テープの長さは、次のようになっています。

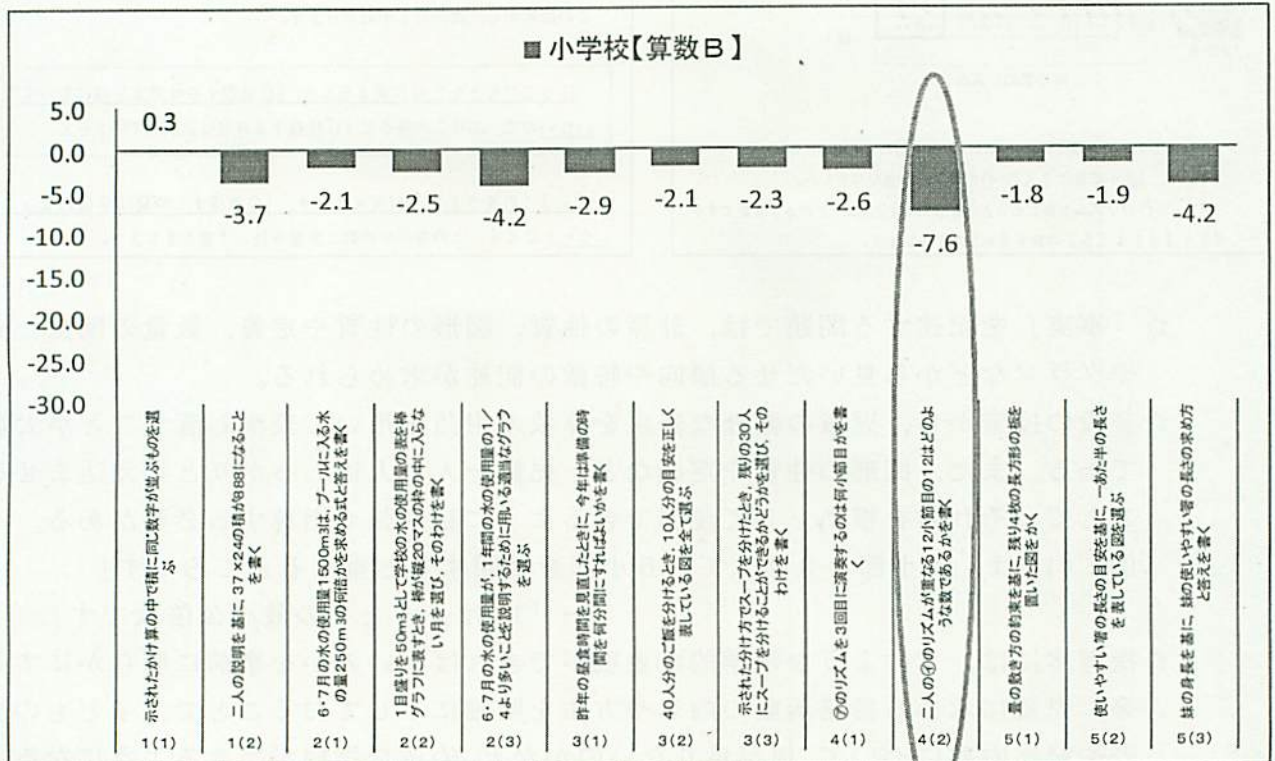
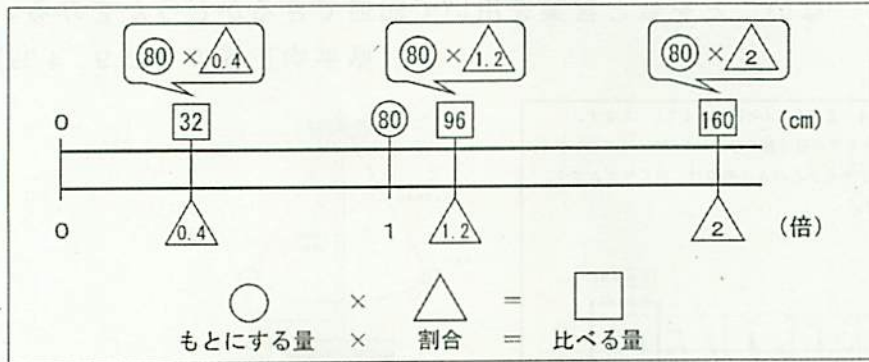
- ・ 赤色のテープの長さは 3 m 
- ・ 青色のテープの長さは 6 m 
- ・ 黄色のテープの長さは 12 m 



☆下の図のように基準量と比較量の関係を観察し、的確に捉えることが考えられる。



☆次に、整数倍の学習を想起し、下の図のように、数量関係を表している文脈が同じ時は、整数の場合で成り立つ式の形は小数の場合もそのまま活用できることを理解できるようにする。





【「事実」を記述する問題】

H 2 6 B 4 (2) 二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できるかどうかをみる。  
 (県平均正答率 52.9%) 第5学年

- ・全国の平均正答率を 7.6ポイント 下回る。
- ・「2人の④のリズムが重なる」のように、事象を公倍数に着目して捉えることができていないと考えられる解答等の反応率は19.8%である。

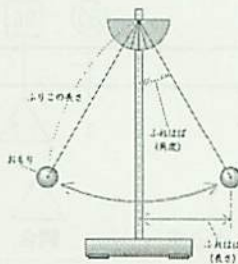
H 2 5 B 2 (3) 表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる。  
 (県平均正答率 29.4%) 第5学年

(2) 次に、けい子さんも加わって、まさるさんと演奏することになります。  
 けい子さんは、カステネットで下の6小節のリズムを何回かくり返します。  
 けい子さんの6小節目とまさるさんの4小節目は、同じリズムです。  
 これを、①のリズムとします。

けい子  
6小節のリズム

まさる  
4小節のリズム

けい子さんとまさるさんは、同時に演奏を始めました。  
 すると、12小節目に2人の①のリズムが重まりました。  
 2人の①のリズムが重なる12小節目の「12」は、どのような数ですか。  
 言葉と「4」と「6」の数を使って書きましょう。



実験3の結果

振りこの長さ (cm)	25	50	75	100
10往復する時間 (秒)	10	14	17	20

この結果から、次のことがわかります。

振りこの長さを2倍に変えたとき、10往復する時間は2倍になっていないので、振りこの長さとも10往復する時間は比例していません。

「振りこの長さを2倍に変えたとき、10往復する時間は2倍になっていない」ことを、上の表の中の数と言葉を使って書きましょう。

☆「事実」を記述する問題では、計算の性質、図形の性質や定義、数量の関係、表やグラフなどから見いだせる傾向や特徴の記述が求められる。

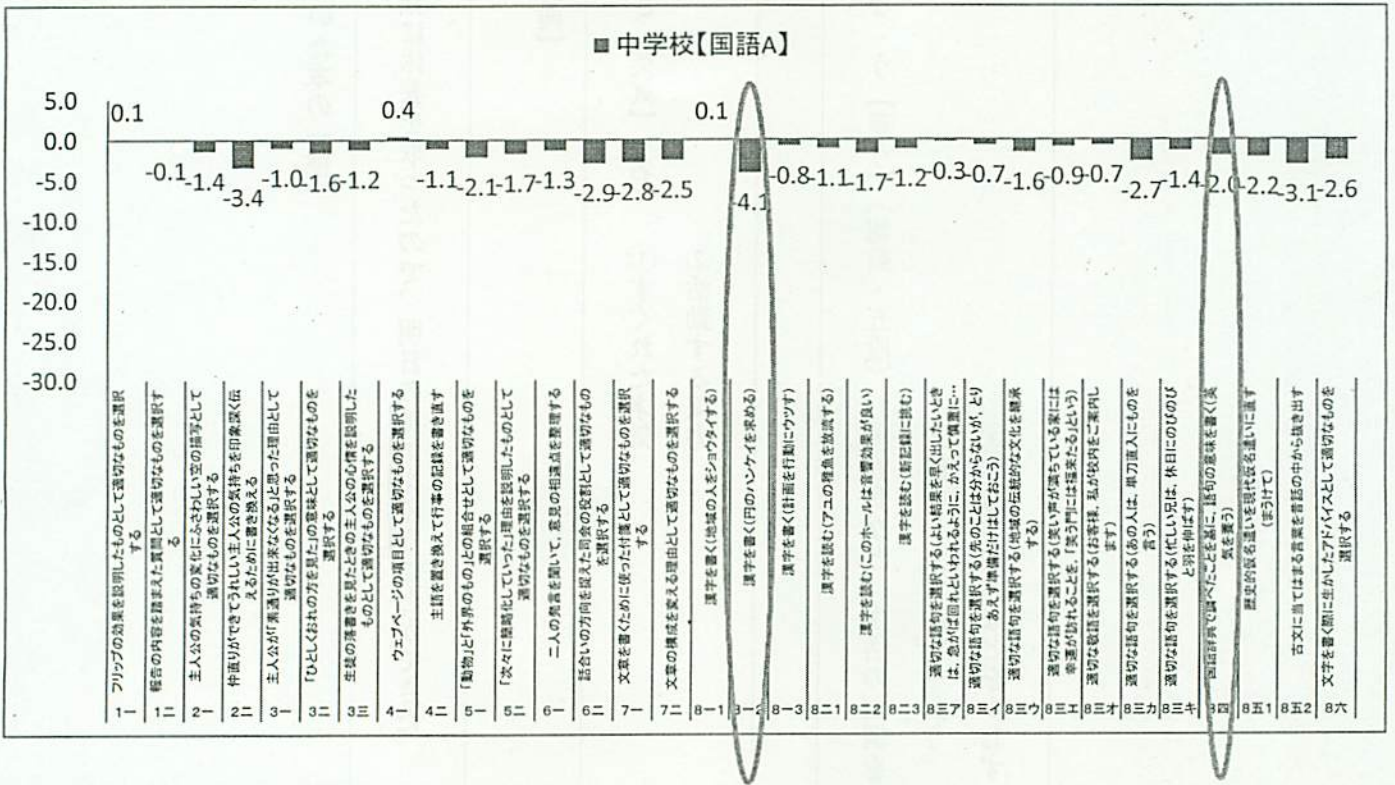
☆普段の授業から、児童の素朴な表現を算数の用語を用いて表現し直すことが大切である。また、図形の性質や定義など、児童一人一人にしっかりと覚え込ませることで、それらを根拠として説明できるように粘り強く指導する必要がある。

例；「12は、4小節を3回して、6小節を2回すると重なるところです」

→「12は、4と6の最小公倍数です」

☆指導案には、どのような数学的な表現ができればよいのかを事前に明らかにする等、児童に求める言語活動の内容や方法を明確に示しておくことで、子どもの発表や記述内容について、何が足りないのかなど、的確な指摘ができるようになる。





【中学校 国語A】課題が見られた設問

8-2 文脈に即して漢字を正しく書く「円のハンケイを求める」

- ・平均正答率 55.4 (全国との差-4.1)
- ・全体の 39.2% (全国は 36.2%) は「半径」のうち「径」を間違っている。  
(「経」や「形」など)「径」は、小学校4年生で学習する漢字である。

⇒ 中学校では、小学校で学習した漢字を文や文章の中で確実に書けるようになることが必要。漢字を書く学習では、漢字の字形や画数、読みや意味などを確実に理解することや字形の似ている漢字のそれぞれの意味を理解するとともに、部首との関連、熟語や文中でどのような意味で用いられているかを確認することが大切。

8-4 国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く「英気を養う」

- ・平均正答率 57.9 (全国との差-2.0)
- ・無解答率 16.3 (全国は 12.3)
- ・短答式 (記述式でなくても無解答率が高い)

⇒ 国語辞典の使い方をはじめて学習するのは、小学校3年生。その後、どの学年でも必要に応じて辞典を使って言葉を調べるような学習が必要。  
・文脈に沿って語句の意味を選び、それが文中の意味として適切かどうか確認する学習が重要。



【読んでいた本の一部】

十分に休養を取ったので、明日の英気を養うことができた。

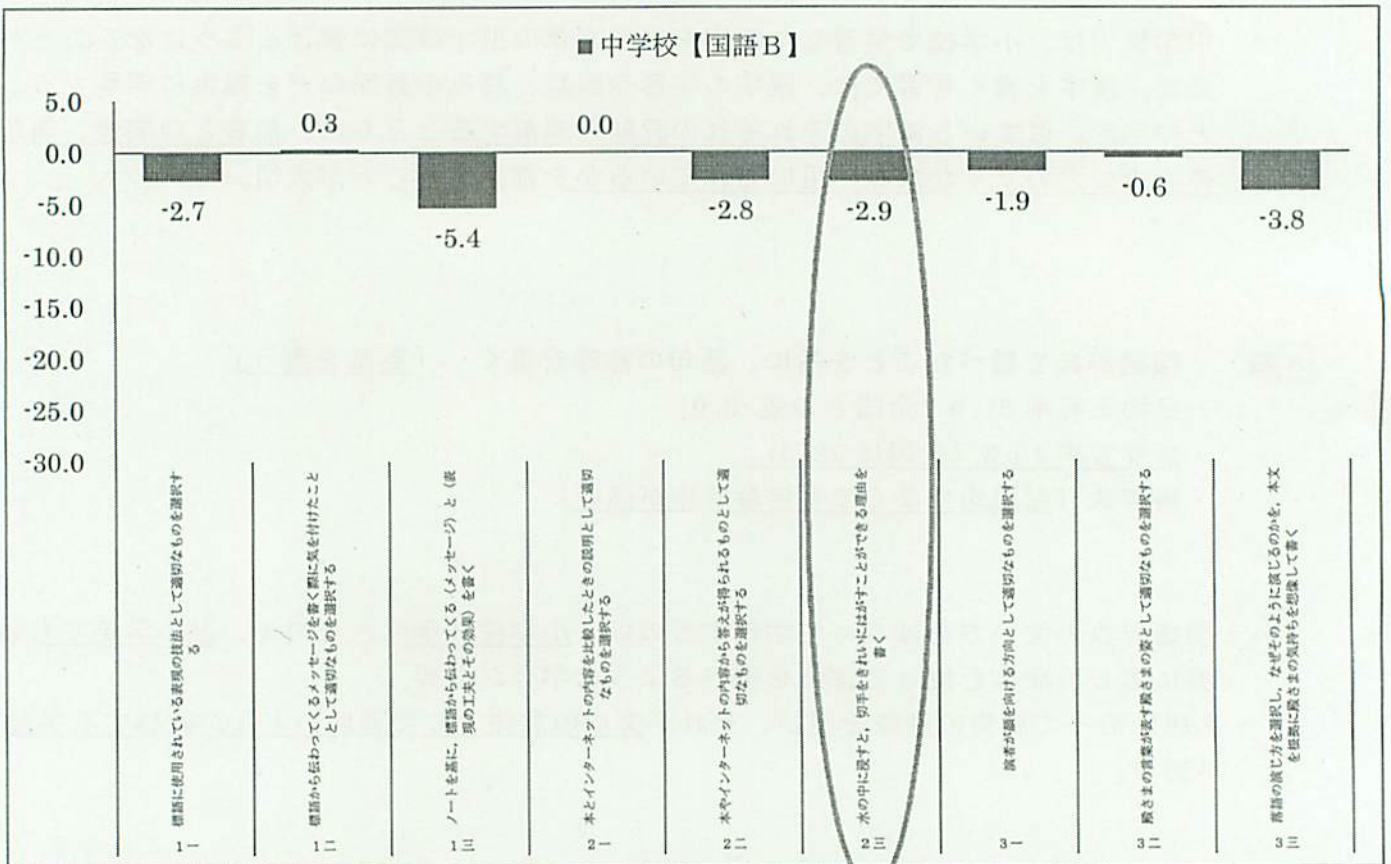
【国語辞典】

えいき 【英気】〈名〉

- ①すぐれた才気。
- ②活動する気力。

やしな・う 【養う】〈他動・五段〉

- ①衣食など、生活の面倒をみる。
- ②餌を与えて動物を飼う。
- ③体力・知力などを少しづつ作り上げる。



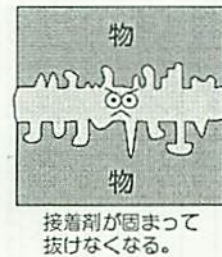
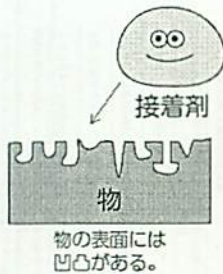


課題が見られた設問

2三 接着剤の問題

「水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書きなさい」

- ・平均正答 25.5 (全国との差-2.9)
- ・無解答率 22.9 (全国は 16.0)
- ・記述式 20～50字で書く



三 封筒に貼ってある切手を水の中にしばらく浸しておくと、きれいにはがすことができるようになります。その理由を次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

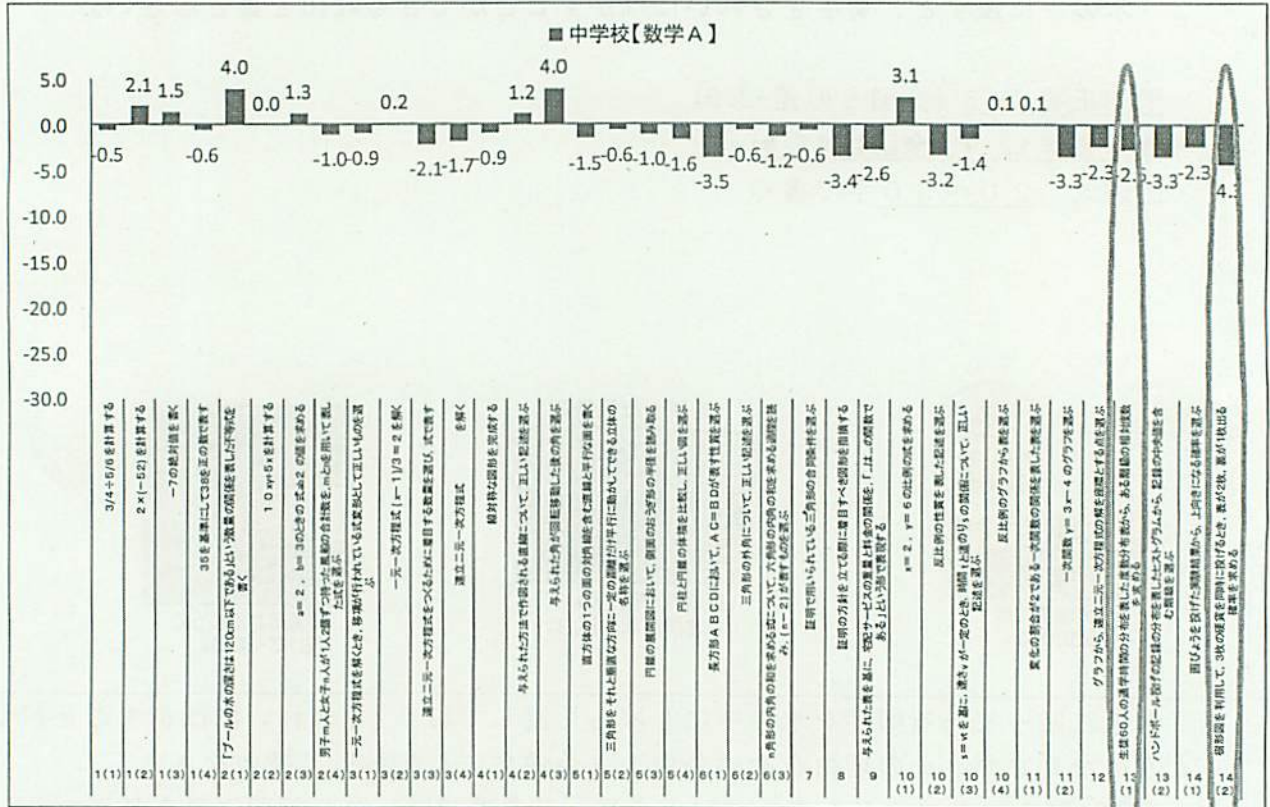
条件1 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書くこと。

条件2 二十字以上、五十字以内で書くこと。

⇒「文章から正確に情報を読み取ること」「人に正確に伝わるように書くこと」の両面を指導することが大切。

- ・自分で、書いたものを読み直して、読み取った情報は正確か、正しく伝わるように書けているか確かめる学習を意識することが必要。
- ・交流などを通して、書いたものを読み合い、正しく伝わっているかどうか吟味させる必要がある。





課題が見られた問題例

【ある階級の相対度数を求めること】

H 2 6 A 13 (1) 生徒 60 人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。(県平均正答率 40.1%) 第 1 学年

H 2 5 A 14 (2) 6 月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める。(県平均正答率 22.7%) 第 1 学年

(1) ある中学校の 3 年生に対して、通学時間を調査しました。下の度数分布表は、その結果をまとめたものです。

階級(分)	度数(人)
以上 未満	
0 ~ 10	5
10 ~ 20	9
20 ~ 30	14
30 ~ 40	18
40 ~ 50	11
50 ~ 60	3
合計	60

30 分以上 40 分未満の階級の相対度数を求めなさい。

(2) 下の図は、ある市の平成 24 年 6 月 1 日から 30 日までについて、日ごとの最高気温の記録をヒストグラムに表したものです。このヒストグラムから、例えば、最高気温が 30℃以上 32℃未満の日が 5 日あったことがわかります。

最高気温(℃)	日数(日)
22 ~ 24	3
24 ~ 26	8
26 ~ 28	7
28 ~ 30	6
30 ~ 32	5
32 ~ 34	1

22℃以上 24℃未満の階級の相対度数を求めなさい。

- ・ 全国の平均正答率を 2.6 ポイント下回る。
- ・ 度数の「18」を解答している誤答が 19.6% であり、無解答率も 20.6% である。
- ・ 用語の意味について理解ができていない。



☆身近な場面で資料を収集すると、総度数が異なる場合が多い。意図的にそのような場面を取り上げ、階級の度数をそのまま比較することが適切でないことを実感できるようにすることで、相対度数の必要性和意味について理解できるように指導することが大切である。

☆「資料の活用」については、1年生の3学期に学習するだけであるため、学びが印象に残るものとなるよう、学級の生徒の通学時間やスポーツテストの記録等、実際のデータを収集して整理することを通して、学習を進めることが大切である。

【確率を求めること】

H 2 6 A 14 (2) 樹形図を利用して、3枚の硬貨を同時に投げるとき、表が2枚、裏が1枚出る確率を求める。 (県平均正答率 60.8%) 第2学年

H 2 5 A 15 (2) 大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも1になる確率を求める。 (県平均正答率 51.8%) 第2学年

・ 全国の平均正答率を 4.3ポイント 下回る。

・ 無解答率は 14.2% である。

・ 樹形図が与えられた出題であったが、反応率を見ると、樹形図についての理解が十分でないことがうかがえる。

☆確率を求めることができるようにするために、樹形図や二次元の表などを利用して、起こり得る全ての場合の数とその事柄が起こり得る場合の数を正しく数え上げられるように指導することが大切である。

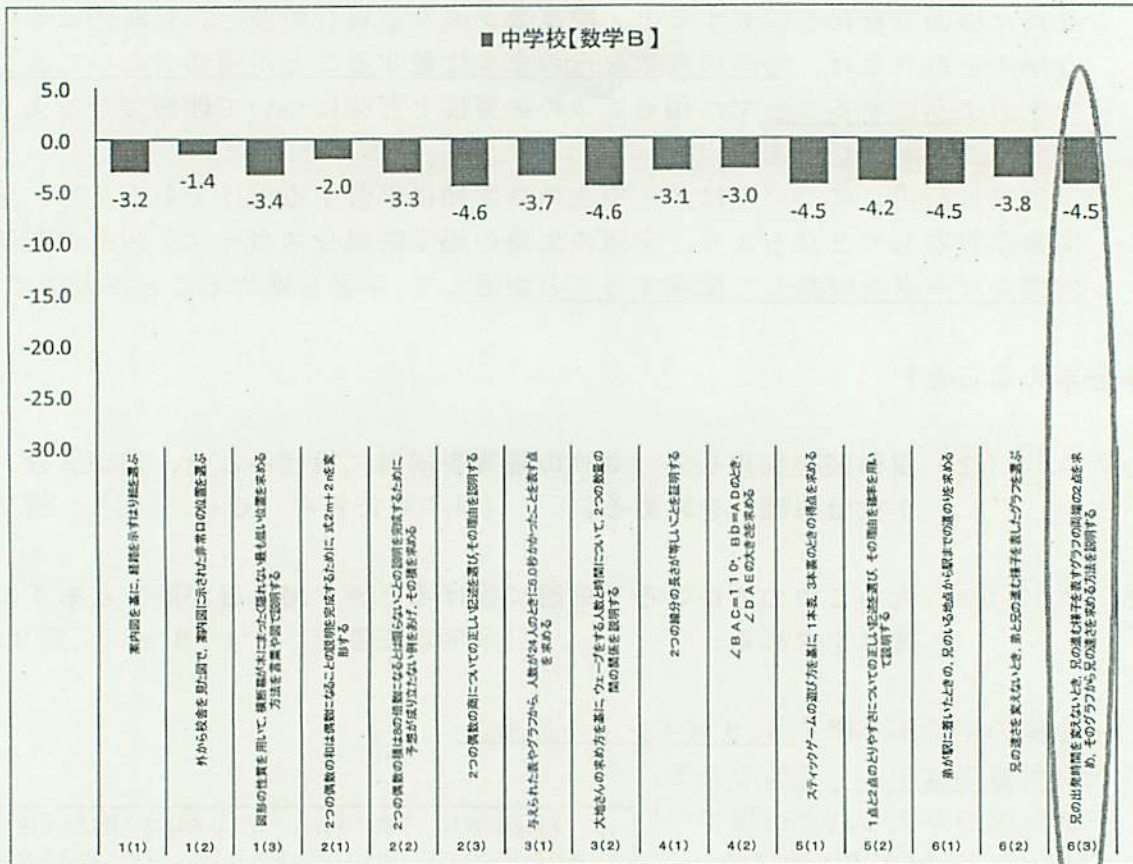
(2) 下の樹形図は、3枚の硬貨A、B、Cを同時に投げるときの表と裏の出方について、表を○、裏を×として、すべての場合を表したものです。

硬貨A	硬貨B	硬貨C
	○	○
		×
○	×	○
		×
	○	○
		×
×	×	○
		×

このとき、表が2枚、裏が1枚出る確率を求めなさい。ただし、硬貨の表と裏の出方は、同様に確からしいものとします。

☆樹形図が全ての場合を落ちや重なりがなく表していることや、表が2枚、裏が1枚出る事象が樹形図のどの部分に表れているかを確認する場面を設定することが考えられる。その上で、硬貨を4枚に増やした場合の樹形図をかき、様々な確率を求められるように指導することが大切である。





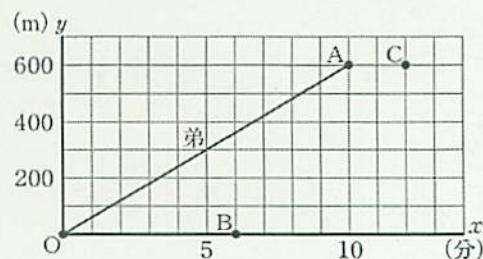
【問題解決の方法を数学的に説明すること】

- H 2 6 B **6** (3) 兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する。  
(県平均正答率 25.4%) 第2学年
- H 2 5 B **3** (2) 与えられた表やグラフを用いて、水温が80°Cになるまでにかかる時間を求める方法を説明する。(県平均正答率 26.4%) 第2学年

- ・全国の平均正答率を 4.5ポイント 下回る。
- ・無解答率は 22.7% であり、全国よりも5.2ポイント 高い。

(3) 兄の速さを変えれば、出発する時間を変えなくても、弟が駅に着いたときに、ちょうど兄が弟に追いつくことができます。このようなグラフを表すには、弟と兄の進むようすの4点O、A、B、Cのうち、どの2点を結べばよいですか。その2点を書きなさい。また、その2点を結んだグラフから兄の速さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に兄の速さを求める必要はありません。

☆様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、何をどのように用いればよいかを明らかにできるように指導することが大切である。





☆表，式，グラフなどの「用いるもの」とその「使い方」について説明する場面を設定することが考えられる。

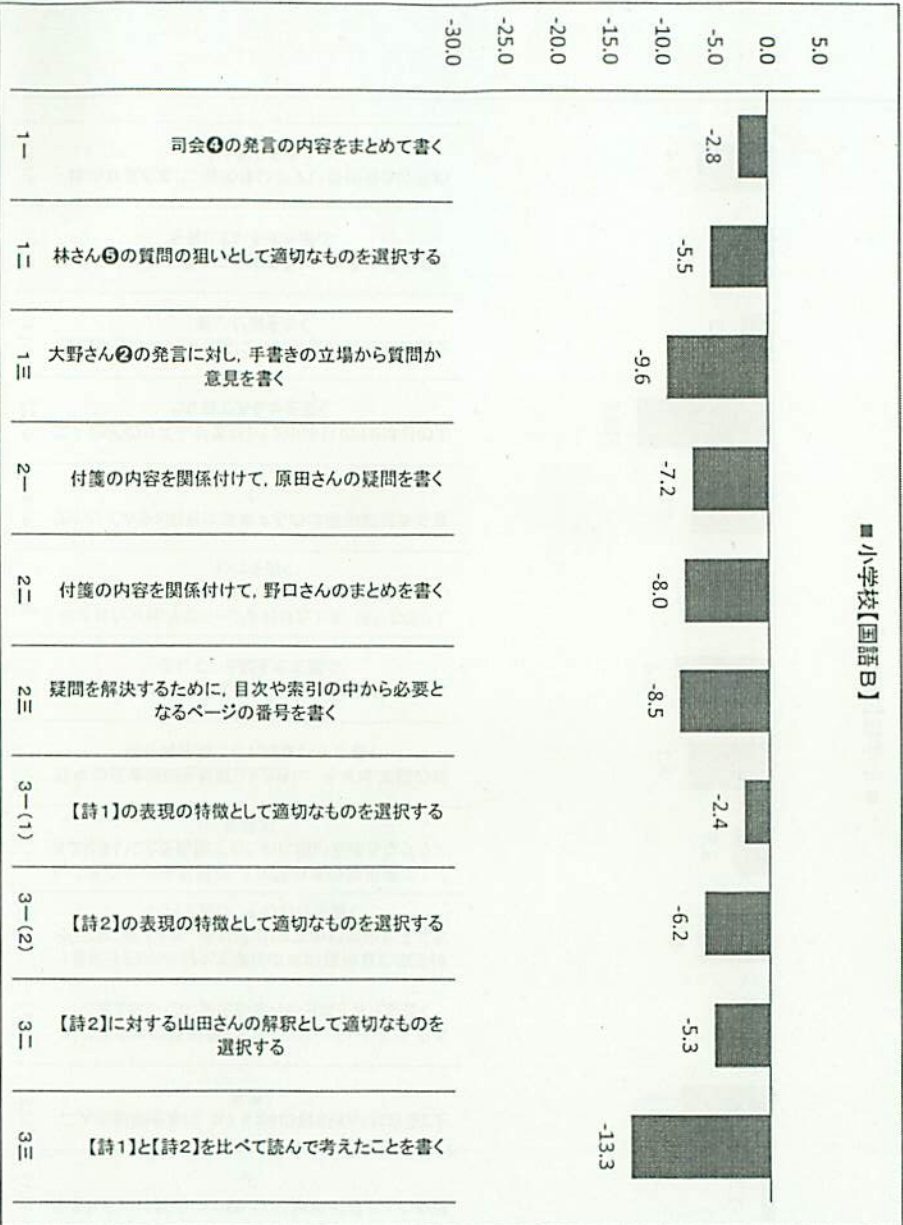
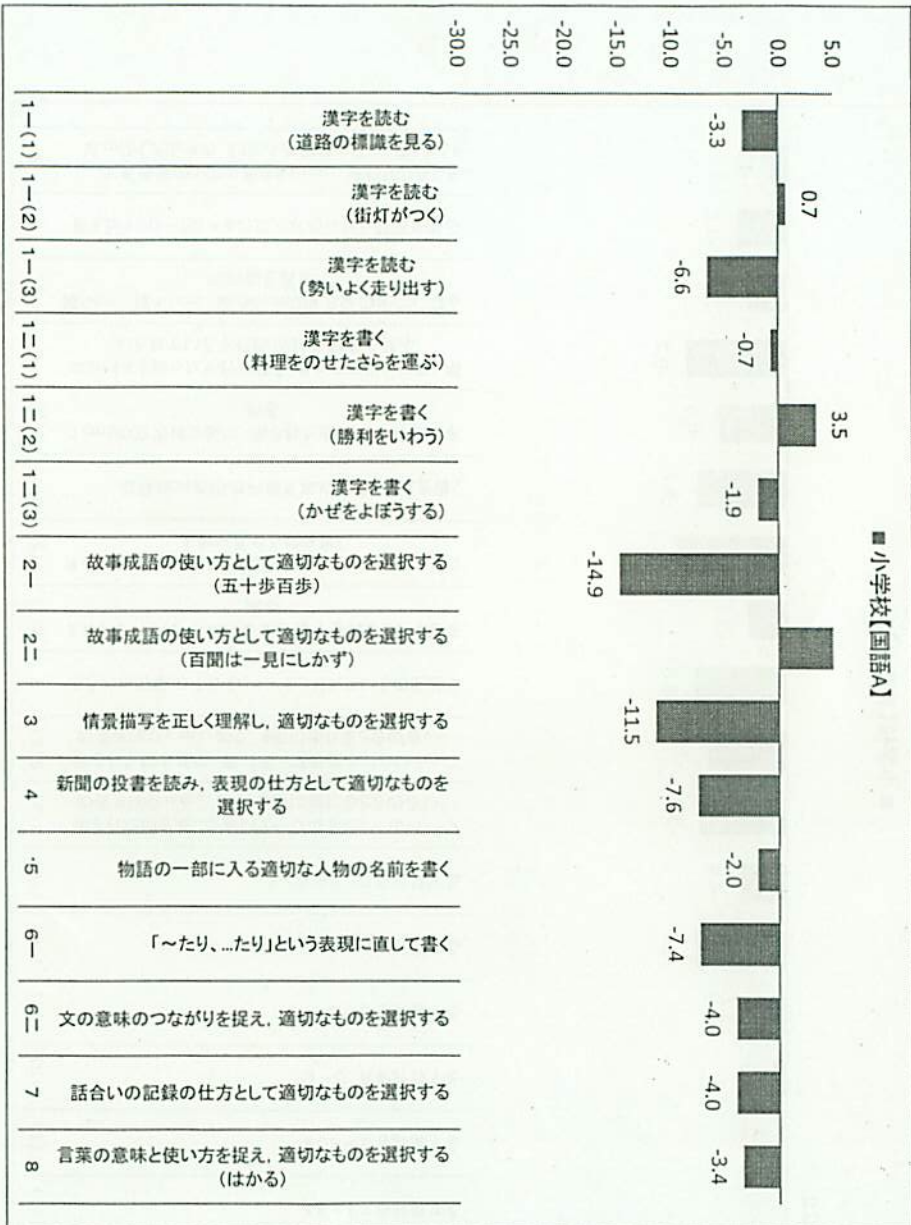
☆授業の終わりに，問題解決の過程を振り返り，どのような考え方を聞いたのか確認しノートにまとめる時間をとることが大切である。



平成26年度  
教育長市町教育委員会訪問資料別冊  
〇〇市

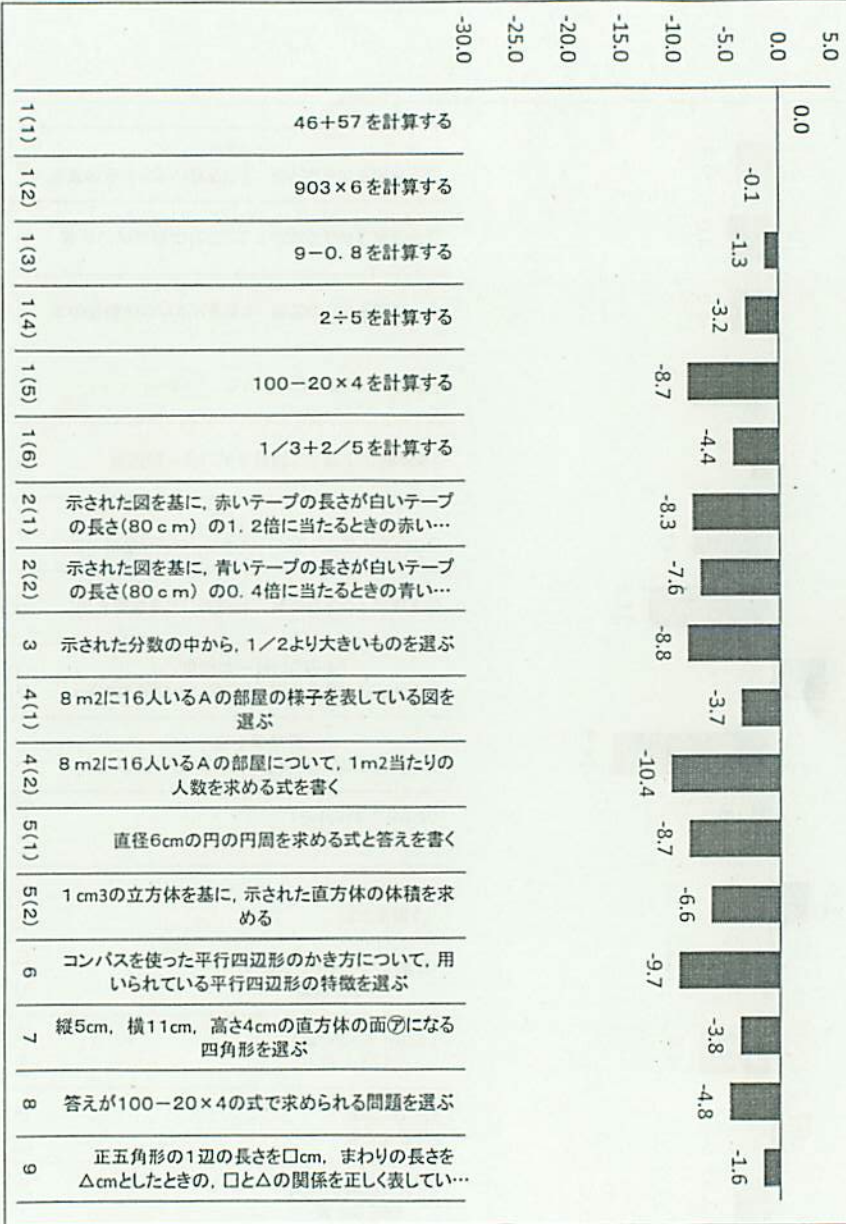
平成26年10月 日  
滋賀県教育委員会事務局学校教育課







■ 小学校【算数A】



■ 小学校【算数B】

